

ミスミグループ
2026年3月期 上期決算報告
と今後の取り組み

2025年10月31日
代表取締役社長 大野龍隆

目 次

1. 25年度上期 決算概要	2
2. 25年度通期 業績見通し	11
3. 今後の成長戦略と25年度上期の進捗	18
4. 参考資料	31

為替レート (対円)	FY24 実績		FY25	
	上期	通期	上期 実績	下期 想定
USDドル	152.3円	152.5円	146.6円	145.0円
ユーロ	165.5円	163.6円	167.7円	171.0円
人民元	21.2円	21.1円	20.4円	20.4円

25年度上期 決算概要

25年度上期の市況と当社の取り組み

<市況・需要動向>

- 懸念された通商政策影響は**想定より軽微**も地域により影響差
 - ・ 日欧 ： 自動車業界需要低迷
 - ・ 米中亜 ： 通信・電子電機需要が堅調

<当社業績>

- 成長性：関税、為替影響を売上増で補い**増収**
- 収益性：関税、為替、Fictiv買収費用等の減益材料多くも**粗計画線**

<戦略実行・基盤強化>

- 「短期」と「中期」の**均衡策**を継続、**デジタルモデル施策は着実に進展**
- 持続的成長に必要な事業基盤強化への投資は継続
- 7月から連結対象とした**Fictiv業績は堅調**、統合計画も順調に進捗

25年度上期 決算概要

独自施策効果で対前年+3.9%成長、F連結前でも過去最高を更新

売上数量増により関税、為替影響吸収もFictiv含む成長投資で対前年減益

百万円

項目	Fictiv連結前(F連結前)			Fictiv	Fictiv連結後(F連結後)			
	FY24 上期 実績	FY25 上期 実績	対前年同期 増減率	FY25 上期 実績 (7-9月)	公表 (7/25)	FY25 上期 実績	対前年同期 増減率	対公表 増減率
			円ベース (現地通貨 ベース)				円ベース (現地通貨 ベース)	円ベース
売上高	198,022	201,093	+1.6% (+3.3%)	4,721	204,000	205,814	+3.9% (+5.7%)	+0.9% (-)
のれん償却前 営業利益	23,390	21,861	▲6.3% (▲1.6%)	※1 ▲1,380	-	20,481	▲12.4% (▲7.8%)	-
利益率	11.8%	10.9%	▲0.9pt (▲0.6pt)	-	-	10.0%	▲1.9pt (▲1.5pt)	-
営業利益	23,390	21,861	▲6.3% (▲1.6%)	※2 ▲2,242	19,400	19,618	▲16.1% (▲11.5%)	+1.1% (-)
利益率	11.8%	10.9%	▲0.9pt (▲0.6pt)		9.5%	9.5%	▲2.3pt (▲1.9pt)	+0.0pt (-)
当期利益	18,200	16,105	▲14.2% (-)	▲2,108	13,900	13,997	▲23.1% (-)	+0.7% (-)

※1 内訳(Fictiv単体業績▲315百万円、M&A仲介費用▲1,065百万円)

※2 内のれん等償却862百万円

25年度上期 事業別売上高・営業利益

FA : meviy、E品等独自施策で増収確保、Fictiv加わり売上伸長

金型 : 自動車需要低調を中・亜成長がカバーするも微減収減益

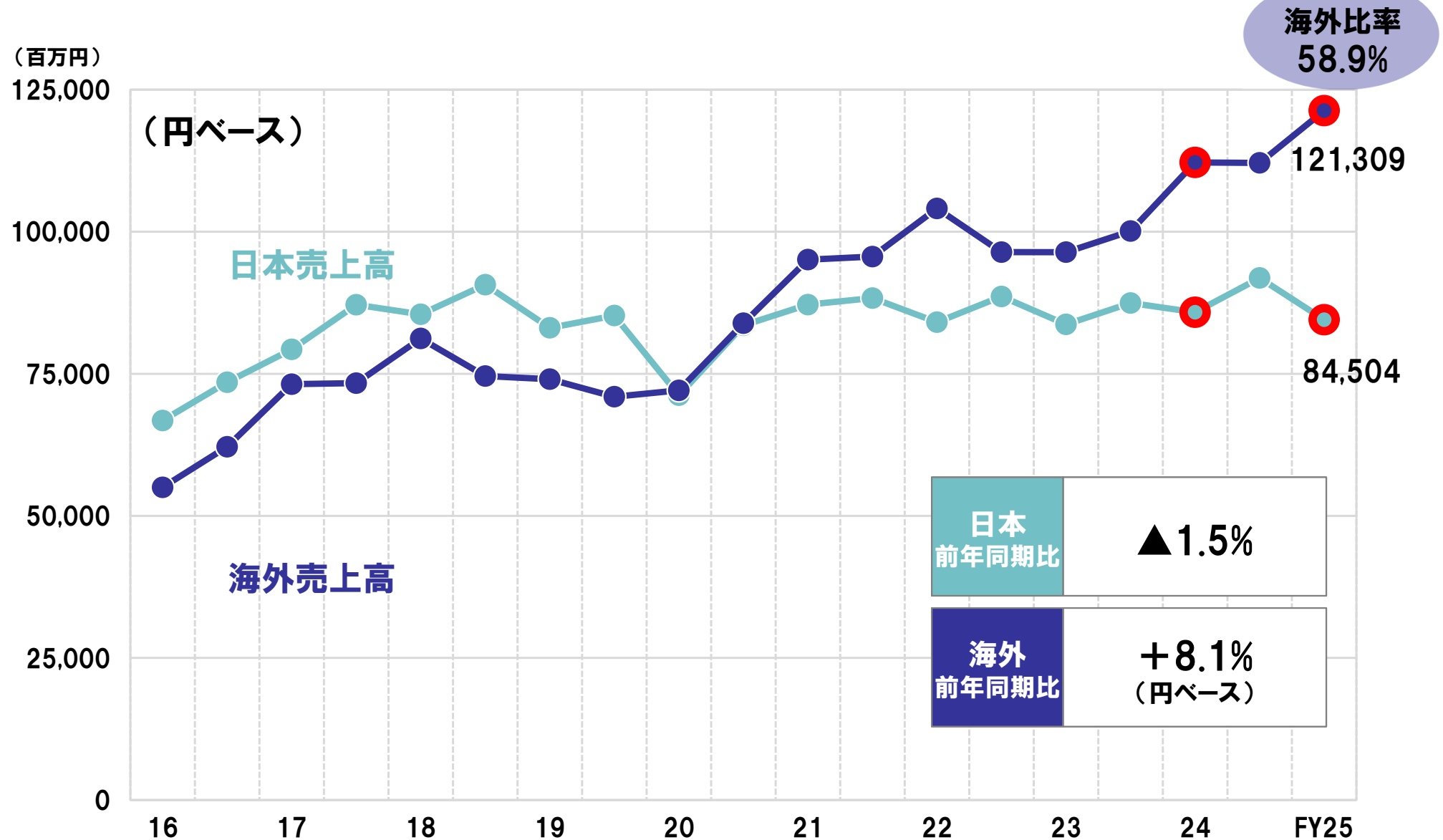
VONA: 中・亜を中心に量産需要を獲得し、増収増益

百万円

項目	売上高			営業利益				
	FY24 上期 実績	FY25 上期 実績	対前年同期 増減率 円ベース (現地通貨 ベース)	FY24 上期 実績		FY25 上期 実績		対前年同期 増減率 円ベース (現地通貨 ベース)
					利益率		利益率	
合計	198,022	205,814	+3.9% (+5.7%)	23,390	11.8%	19,618	9.5%	▲16.1% (▲11.5%)
FA事業	66,854	72,743	+8.8% (+10.5%)	11,565	17.3%	8,133	11.2%	▲29.7% (▲26.1%)
Fictiv連結前		68,021	+1.7% (+3.4%)			10,375	15.3%	▲10.3% (▲6.4%)
金型部品 事業	42,819	42,573	▲0.6% (+2.3%)	4,572	10.7%	4,177	9.8%	▲8.7% (▲2.6%)
VONA 事業	88,347	90,498	+2.4% (+3.8%)	7,251	8.2%	7,307	8.1%	+0.8% (+6.1%)

25年度上期 日本・海外売上高

日本：関税影響を受け需要低迷、自動車関連顧客を中心に低調に推移
海外：中・亜・米が成長を牽引も欧州は低調継続



25年度上期 地域別売上高

(百万円)

45,000

40,000

35,000

30,000

25,000

20,000

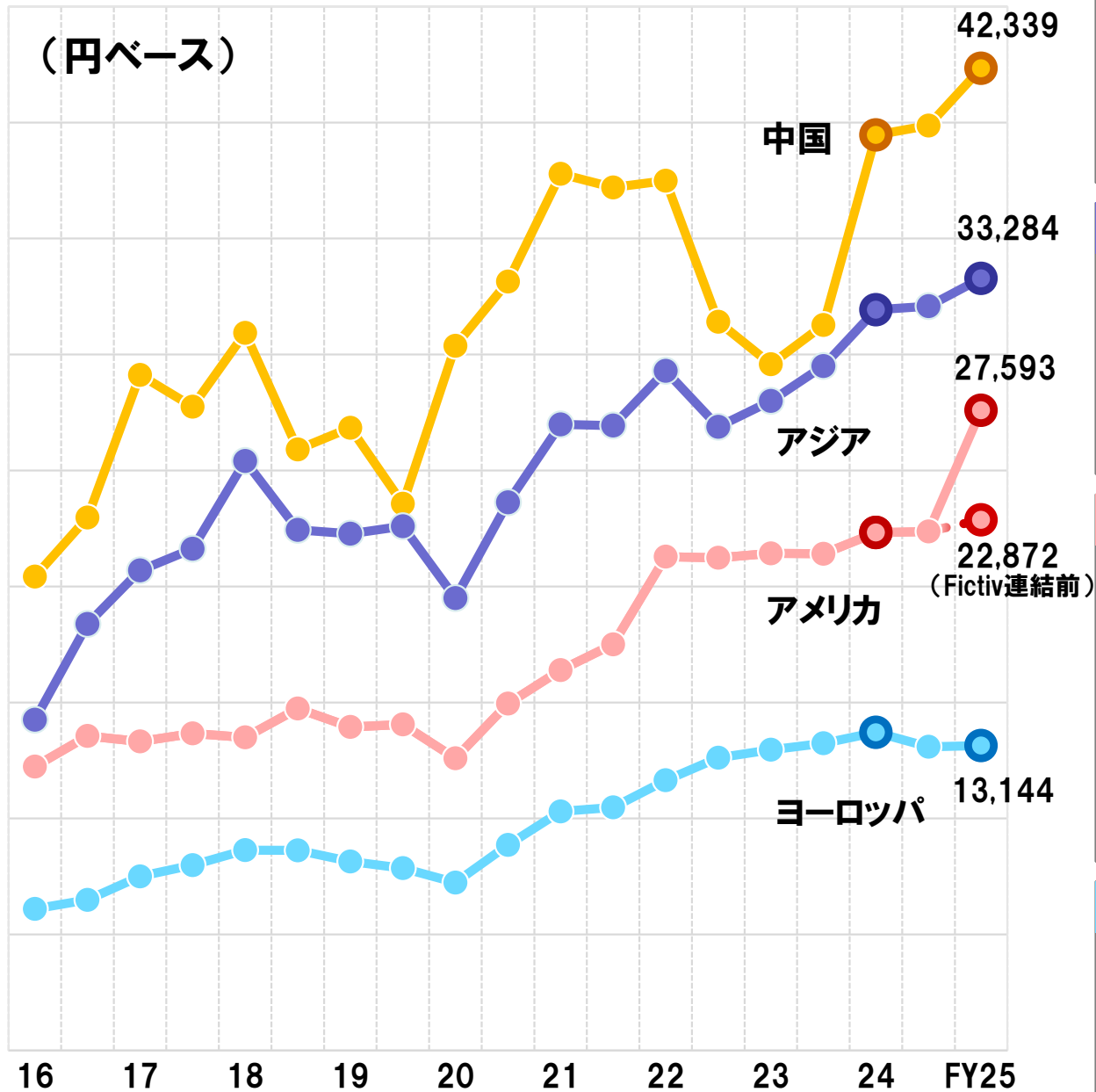
15,000

10,000

5,000

0

(円ベース)



中国

E品・Flowの成長に加え、
通信関連需要継続獲得

(前年同期比) 円ベース +7.3% 現通ベース +11.3%

アジア

独自施策(E品)が成長を牽引し、
底堅く推移

(前年同期比) 円ベース +4.2% 現通ベース +7.1%

アメリカ

関税影響は当初想定より軽微、
Fictivは堅調に推移

(前年同期比)
Fictiv連結前 円ベース +2.5% 現通ベース +6.5%
Fictiv連結後 +23.6% +27.6%

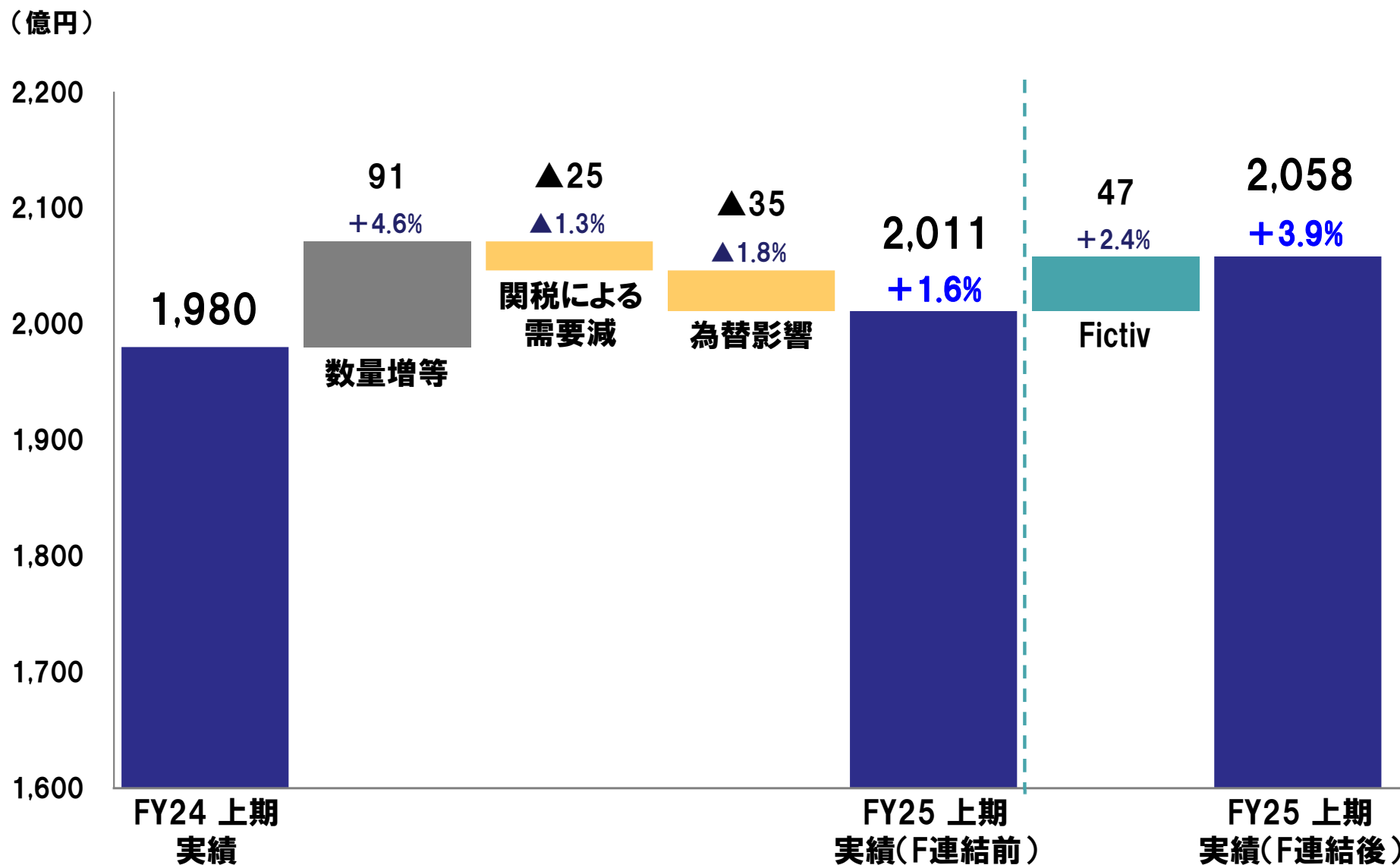
ヨーロッパ

自動車関連産業を中心に
需要低迷は継続

(前年同期比) 円ベース ▲4.1% 現通ベース ▲5.5%

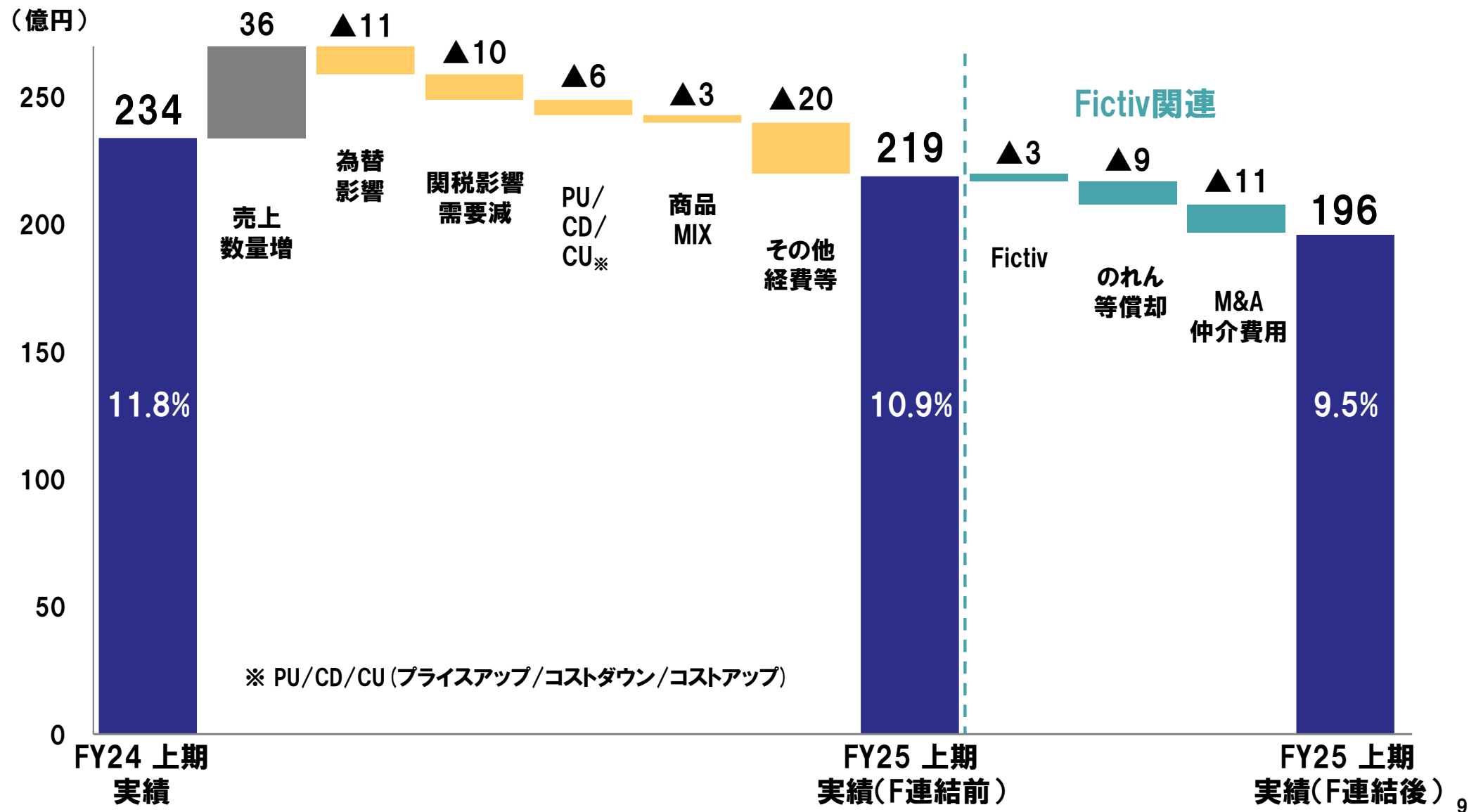
25年度上期 売上増減分析(対前年)

独自施策効果等による数量増により関税/為替影響を吸収
7月以降連結したFictivを加え、対前年+3.9%の増収確保



25年度上期 営業利益増減分析(対前年)

数量増で関税／為替／CU／商品MIXの影響を吸収しつつ成長支出は継続
買収関連費用加わるも、Fictiv業績による減益影響は想定を下回る



投資実績

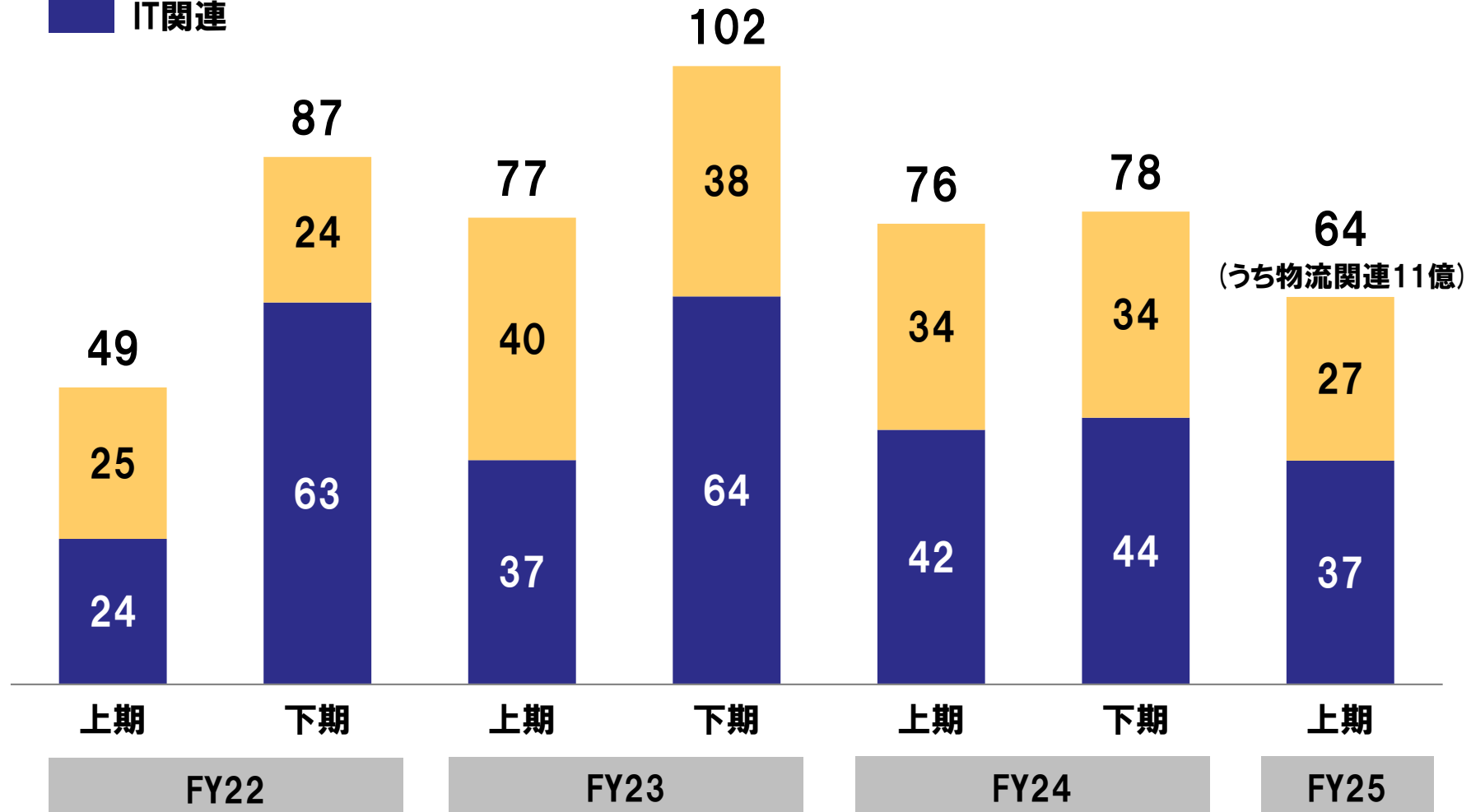
新基幹システムのG展開等IT投資継続、下期は加えて生産物流強化を予定

半期毎設備投資の推移

(億円)

生産・物流関連

IT関連



25年度通期 業績見通し

25年度通期 業績見通し

売上は為替と堅調なFictiv業績を勘案し、見通しを修正(前年比+7.5%)
成長支出継続も収益改善施策により収益性は公表比+0.3pt改善

百万円

項目	F連結前			Fictiv	F連結後			
	FY24実績	FY25見通し	対前年同期増減率	FY25見通し 9カ月間 25/7~26/3	FY25公表 (7/25)	FY25見通し (10/31)	対前年同期増減率	対公表増減率
			円ベース (現地通貨ベース)				円ベース (現地通貨ベース)	円ベース (現地通貨ベース)
売上高	401,987	419,413	+4.3% (+5.9%)	12,586	422,000	432,000	+7.5% (+9.0%)	+2.4% (0.0%)
のれん償却前 営業利益	46,480	50,394	+8.4% (+13.2%)	※1 ▲2,194	-	48,200	+3.7% (+2.3%)	-
利益率	11.6%	12.0%	+0.4pt (+0.8pt)	-	-	11.2%	▲0.4pt (▲0.8pt)	-
営業利益	46,480	50,394	+8.4% (+13.2%)	▲4,894	42,900	45,500	▲2.1% (▲3.6%)	+6.1% (▲0.8%)
利益率	11.6%	12.0%	+0.4pt (+0.8pt)		10.2%	10.5%	▲1.1pt (▲1.4pt)	+0.3pt (▲0.1pt)
当期利益※2	36,549	38,691	+5.9% (-)	▲4,791	30,800	33,900	▲7.2% (-)	+10.1% (-)

※1:内訳 (Fictiv単独業績▲1,129百万円、M&A仲介費用▲1,065百万円)

※2:内のれん償却2,700百万円、Fictiv買収に伴う連結納税効果も反映

25年度通期 事業別売上高見通し

関税影響受けるも、独自施策の着実な進展で全事業前年比増収
通信関連需要の持続及び、Fictivを加えFA事業で高い伸びを計画

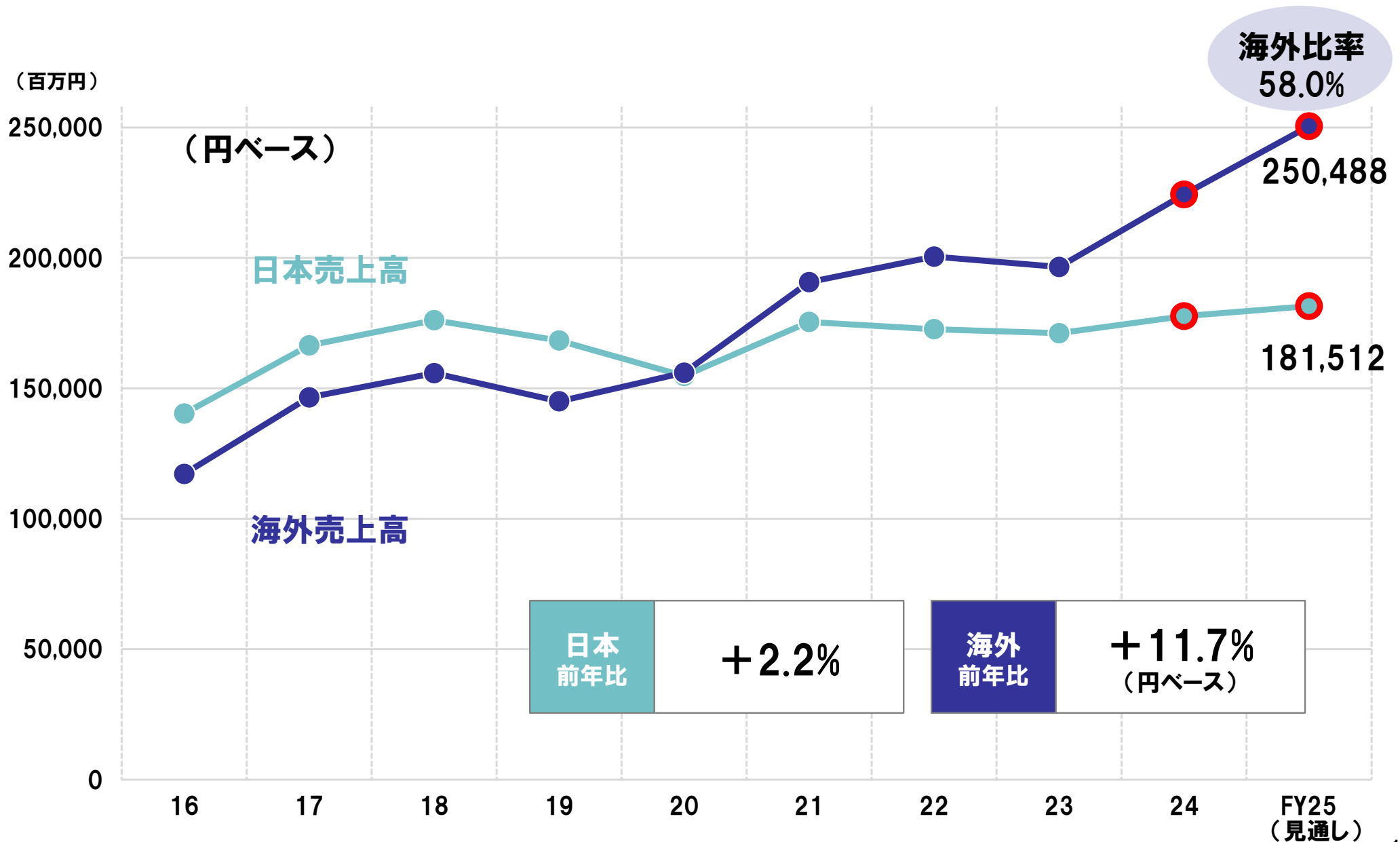
百万円

項目	FY24	FY25			
	実績	公表 (7/25)	見通し (10/31)	対前年 増減率	対公表 増減率
				円ベース (現地通貨 ベース)	円ベース (現地通貨 ベース)
合計	401,987	422,000	432,000	+7.5% (+9.0%)	+2.4% (0.0%)
FA事業	135,803	154,555	157,778	+16.2% (+17.5%)	+2.1% (▲0.4%)
Fictiv連結前		142,509	145,192	+6.9% (+8.2%)	+1.9% (▲0.5%)
金型部品事業	86,451	83,935	87,760	+1.5% (+4.1%)	+4.6% (+1.5%)
VONA事業	179,732	183,510	186,462	+3.7% (+5.0%)	+1.6% (▲0.4%)

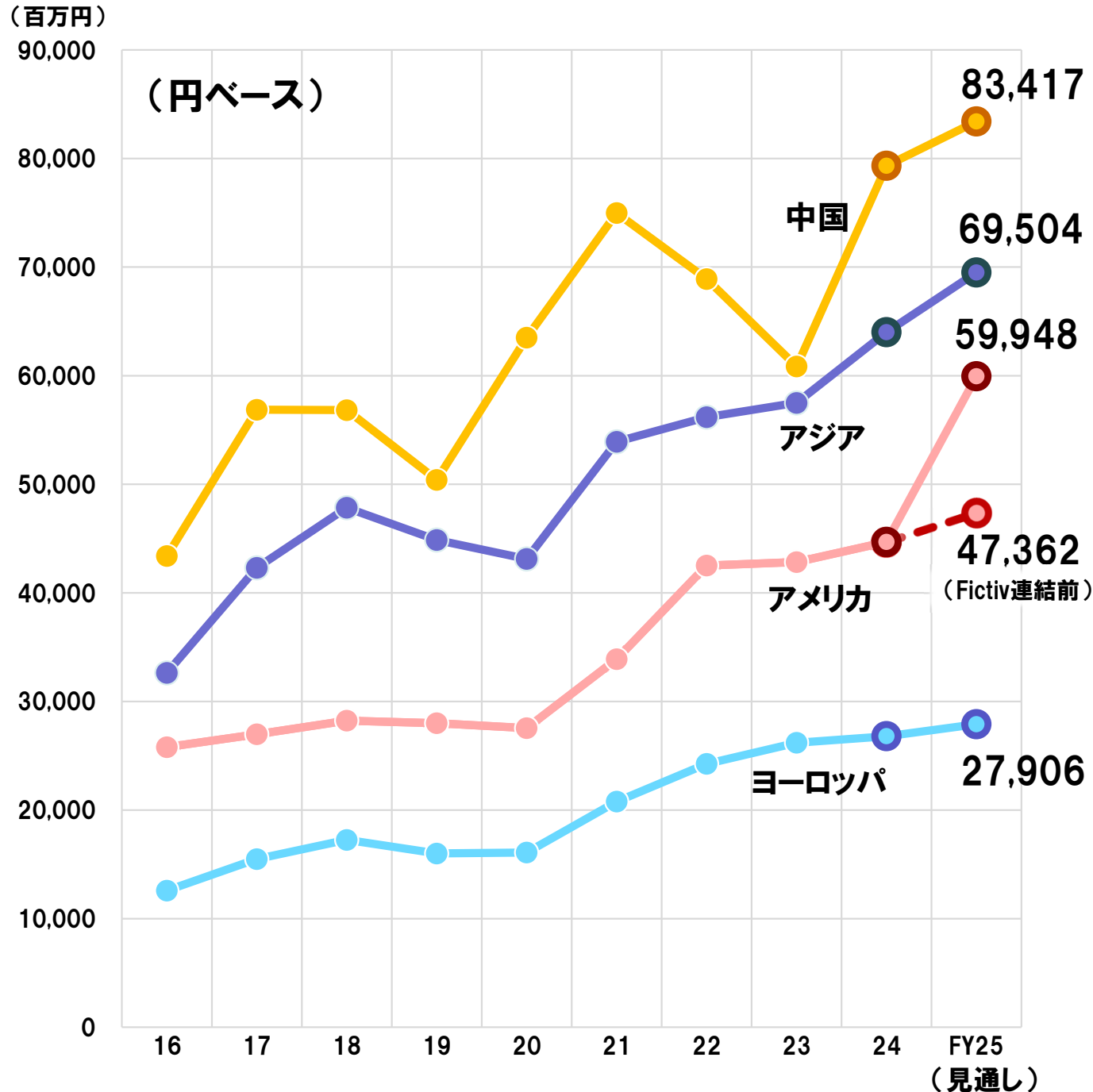
25年度通期 日本・海外売上高見通し

日本:自動車関連需要は低調も、独自施策効果により増収を確保

海外:米・中・亜が成長を牽引、Fictiv連結により成長加速



25年度通期 地域別売上高見通し



中国

独自施策で着実に需要を獲得し、
成長維持

	円ベース	現通ベース
(前年同期比)	+5.2%	+8.8%

アジア

上期堅調に推移したE品の更なる
市場浸透により高成長の見通し
(前年同期比) 円ベース +8.6% 現通ベース +11.3%

アメリカ

関税政策起因の不透明性は継続
も、Fictivで大きく増収

	円ベース	現通ベース
(前年同期比)		
Fictiv連結前	+6.0%	+10.7%
Fictiv連結後	+34.1%	+38.9%

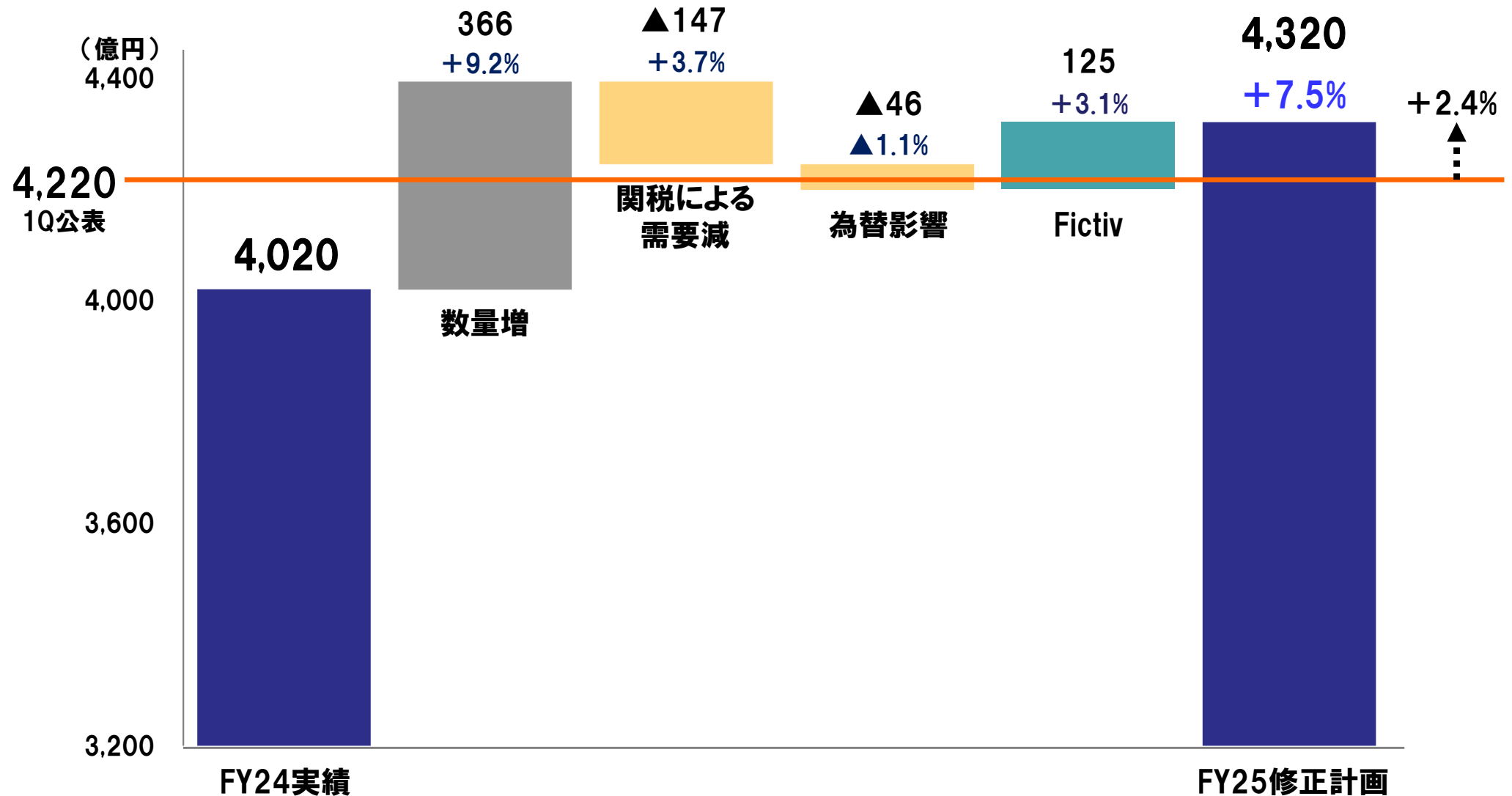
ヨーロッパ

主要産業である自動車を含め
需要回復に時間を要す

	円ベース	現通ベース
(前年同期比)	+4.1%	+0.7%

25年度通期 売上高増減分析(対前年)

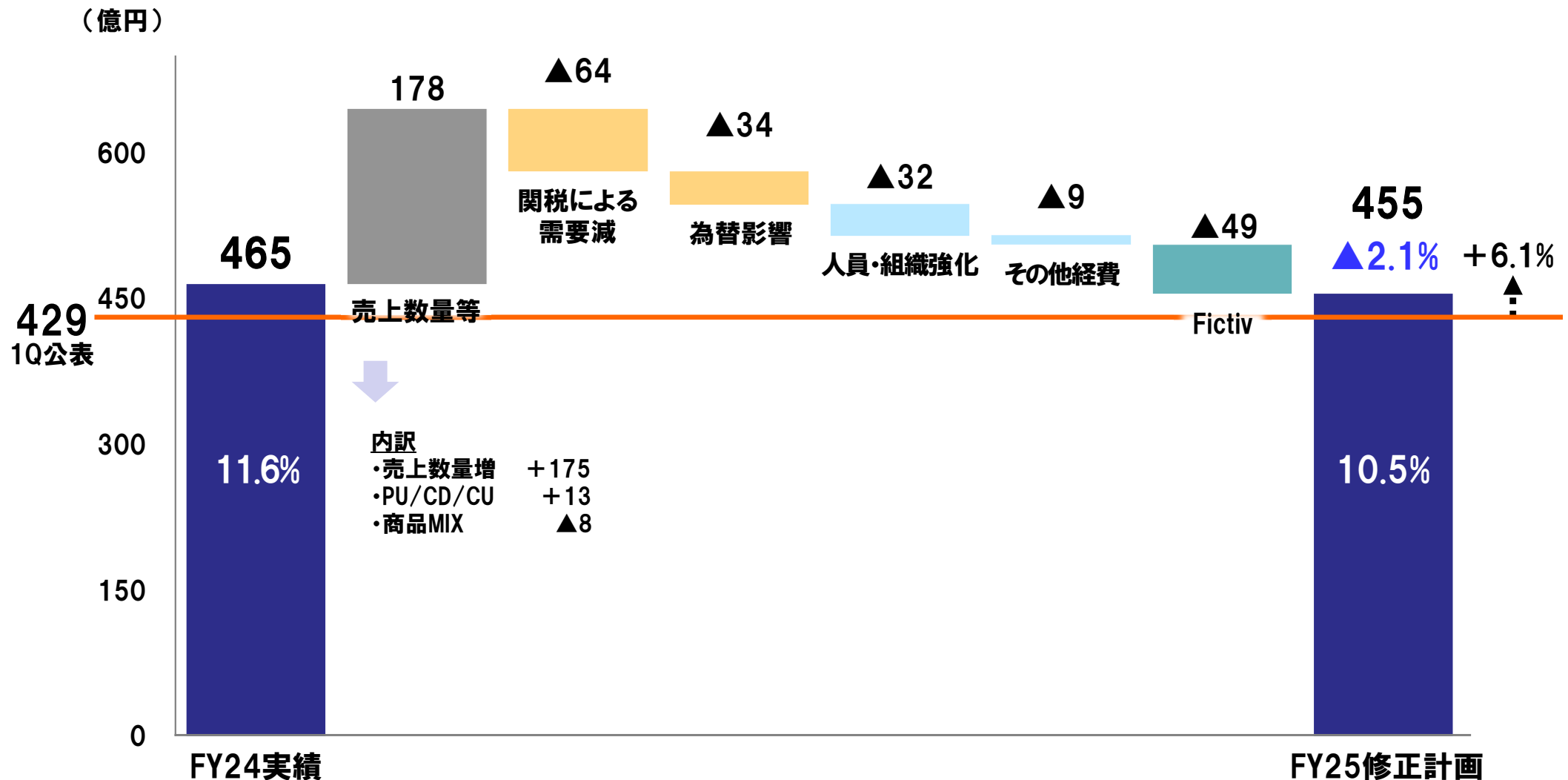
期初見立てた関税、為替影響は縮小したといえ売上成長に大きく影響
買収したFictivを加算し、過去最高売上を更新(前期比+7.5%)



25年度通期 営業利益増減分析(対前年)

独自施策による数量増が関税/為替影響、成長支出を吸収

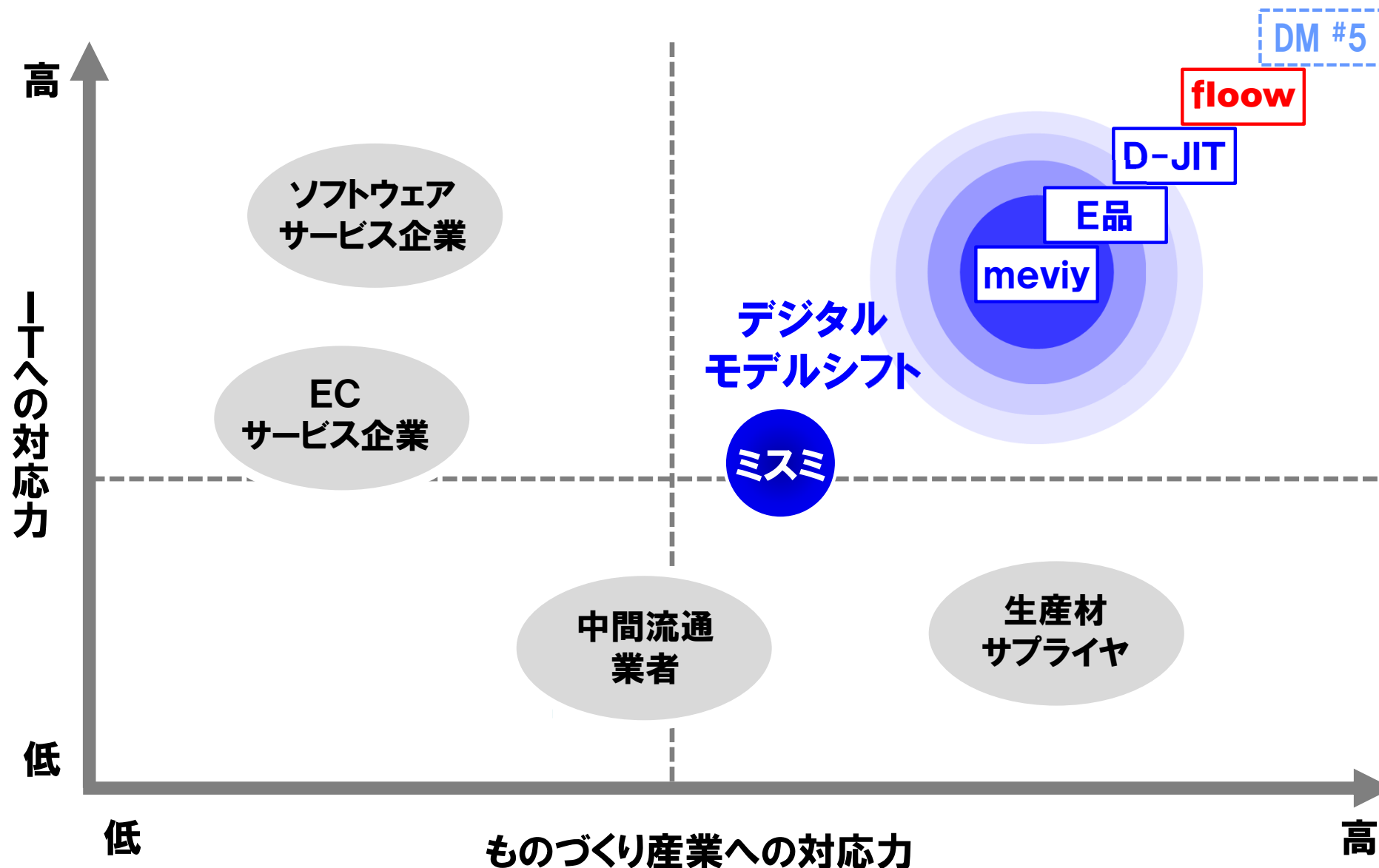
Fictiv業績影響は期中見立てから崩れなし、収益性は10.5%と+0.3pt改善



今後の成長戦略と25年度上期の進捗

ミスミのデジタルモデルシフト

多様化進む自動化顧客ニーズに対応すべく、デジタルモデル**第4弾**を発動
地域毎成長戦略とのシナジーにより、ユニークな競争優位性を築く



デジタルモデルシフトFY25売上見通し

()=対前年同期比

DM #1 オンライン加工事業 (meviy+Fictiv)

FY25計画

344億円

meviy 219億円
(+38%)

Fictiv 125億円
(-%)

FY24

meviy

累計
利用者数

19万人

Fictiv

顧客数

2千社

DM #2 エコノミーシリーズ

FY25計画

158億円
(+42%)

FY24

顧客数

9万社

DM #3 D-JIT

FY25計画

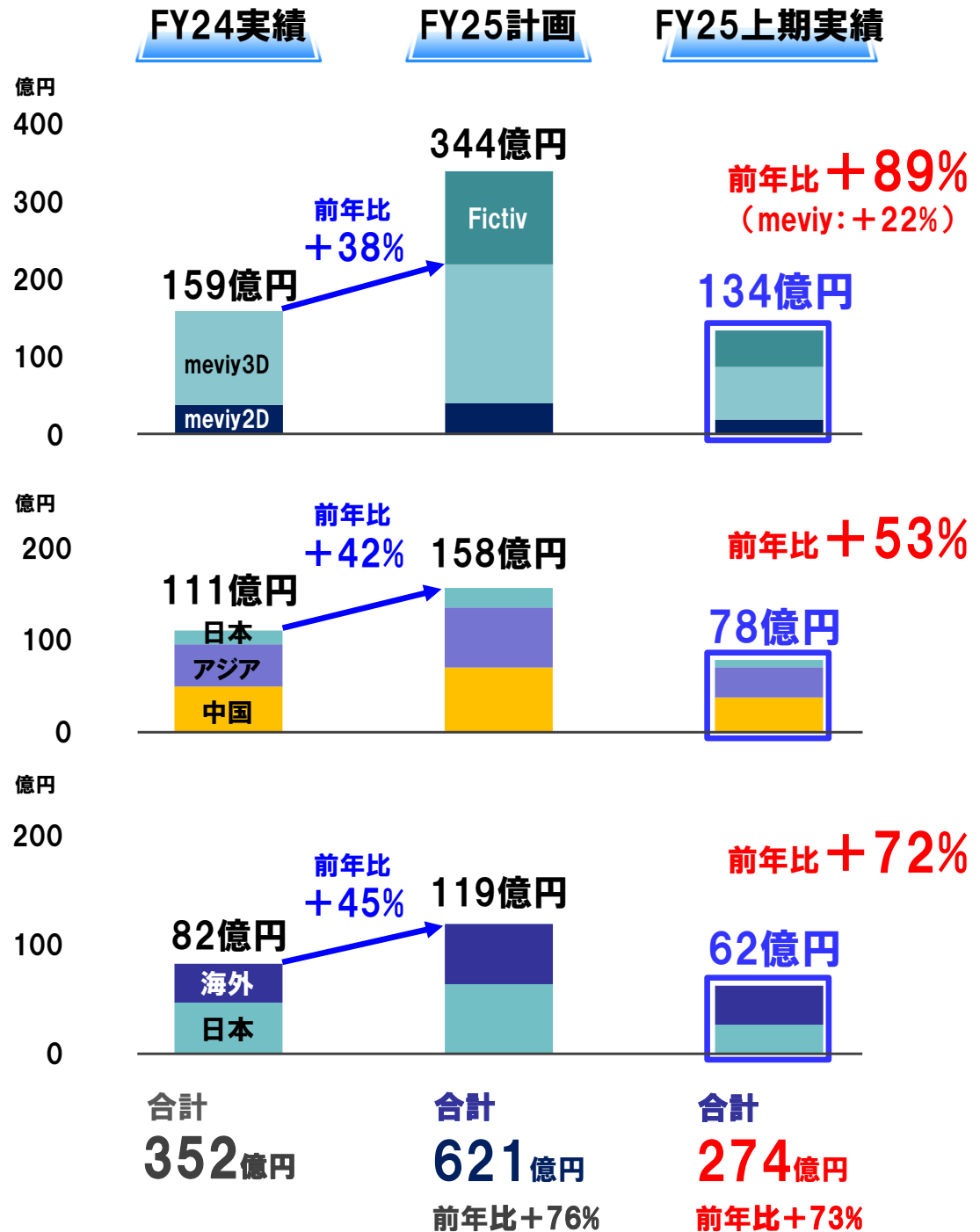
119億円
(+45%)

FY24

サイバーNW調達連携
400社

バーチャル在庫

従来比 **8倍**

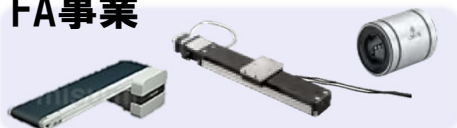


主要事業におけるデジタルモデルシフトの浸透

デジタル施策は概ね堅調、市場低迷影響受けるメーカー事業を下支え
今後も市場の変容を捉えミスミユニークなモデル進化を推進

メーカー事業

FA事業



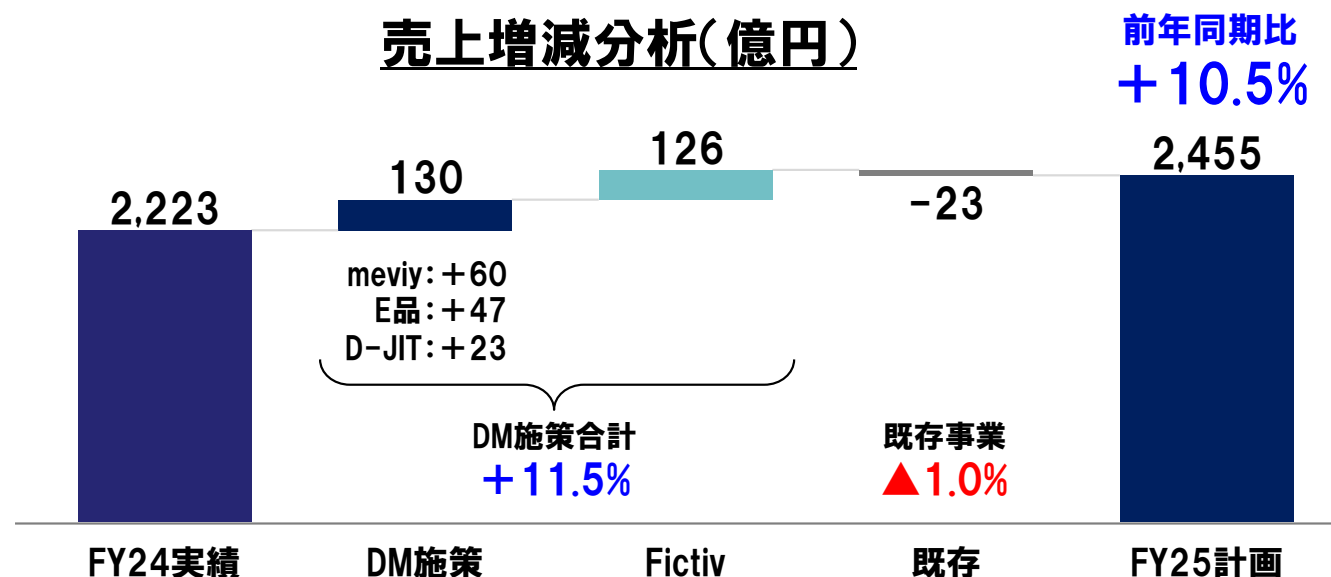
DM施策: meviy、E品、D-JIT、Fictiv

金型部品事業



DM施策: D-JIT

売上増減分析(億円)



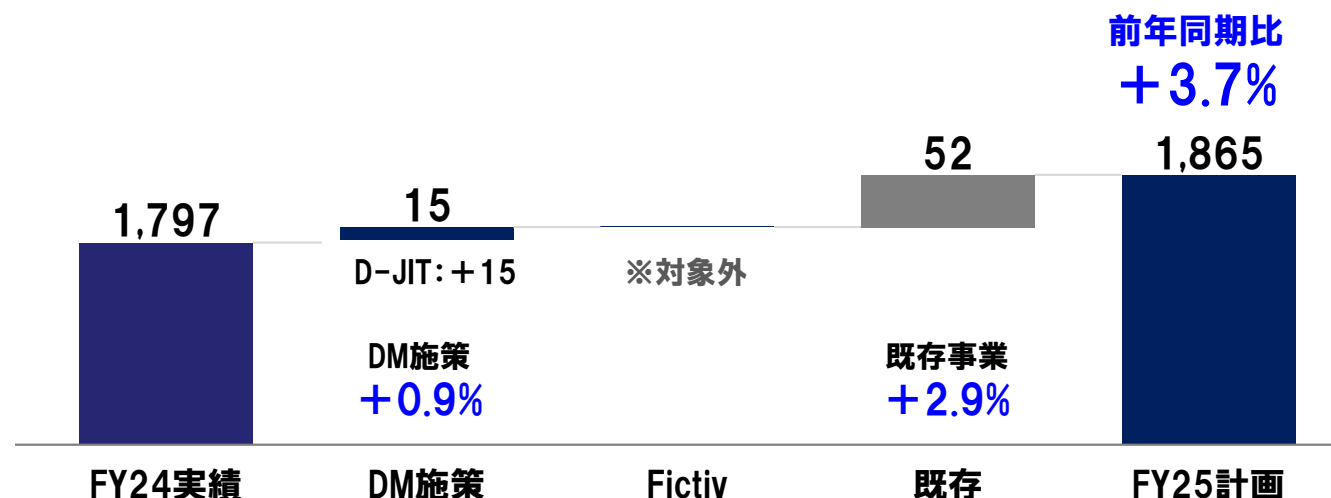
流通事業

VONA事業



DM施策: D-JIT

※flow売上非開示のためDM施策に含まず

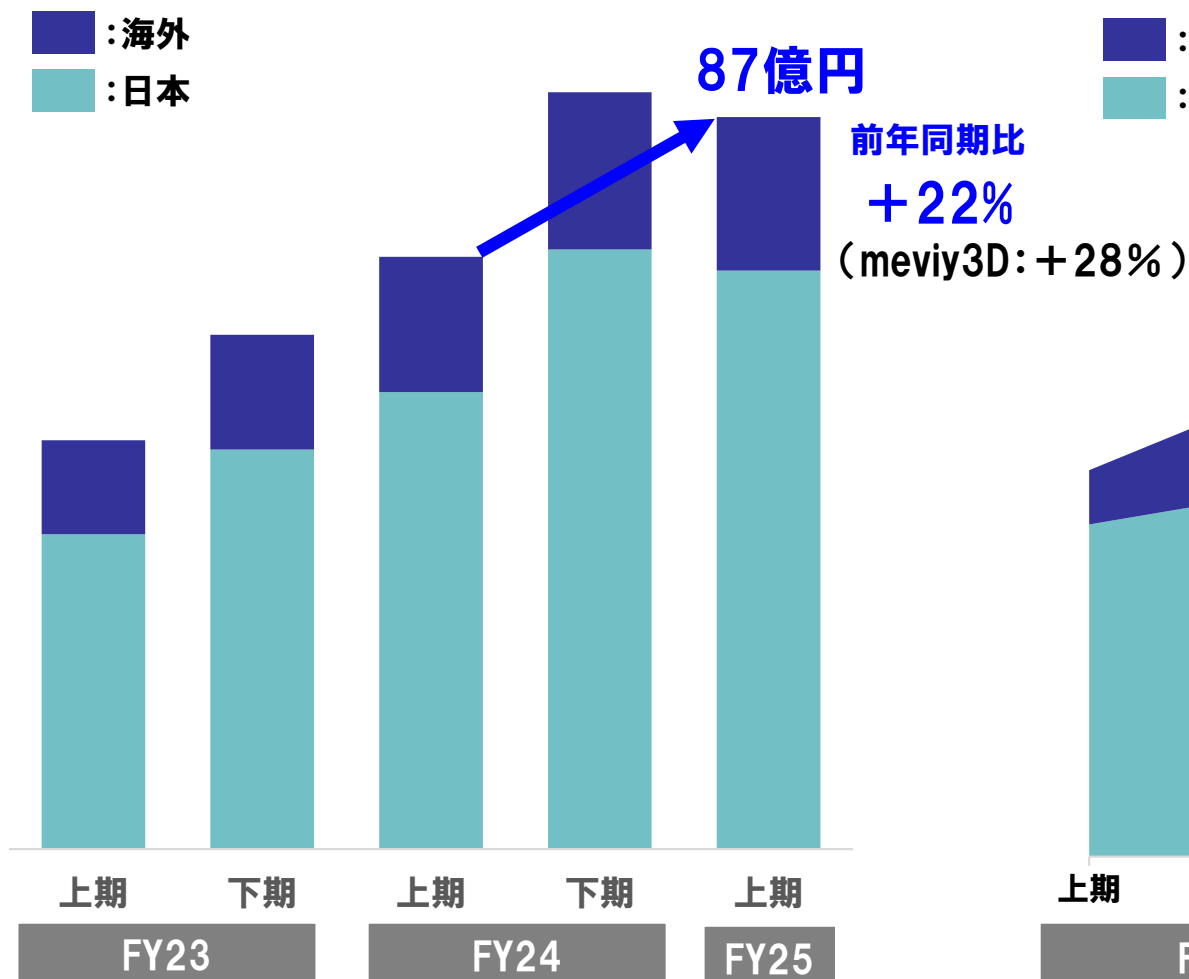


meviy:展開進捗

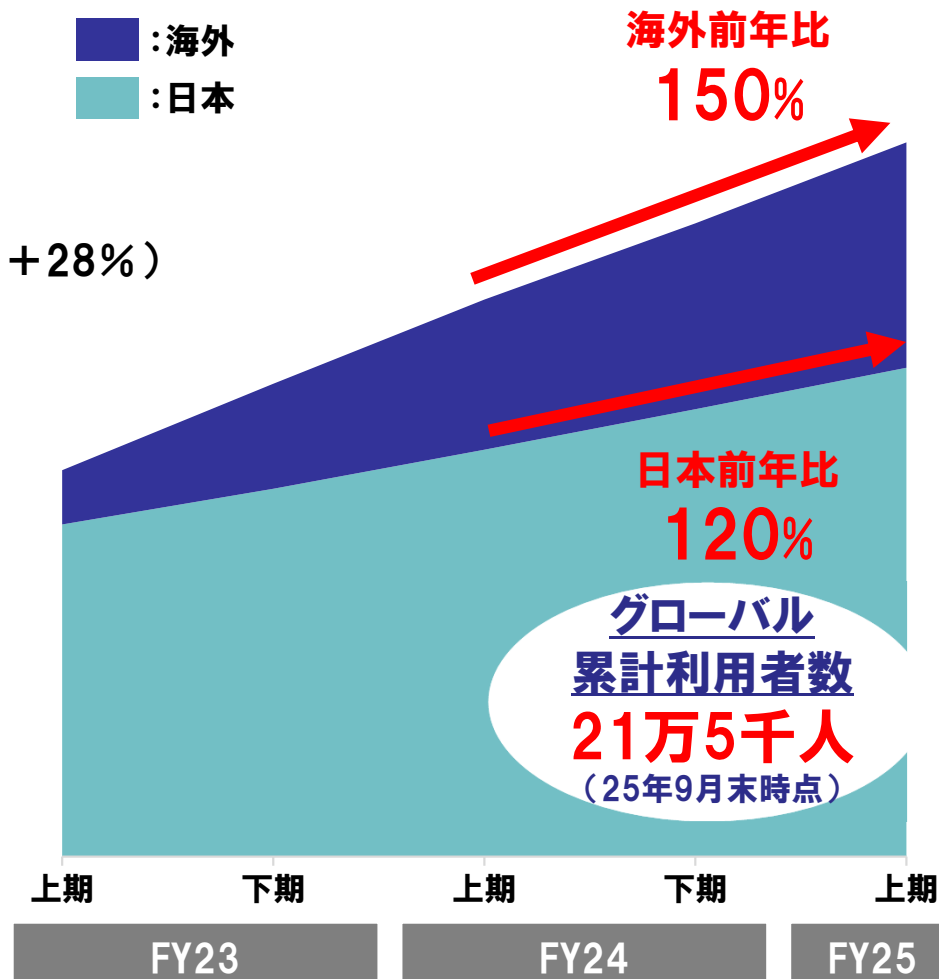
売上構成比の高い日本が、市況低迷影響を受け2Dを中心に停滞
新商品開発等による顧客拡大で利用者数はグローバルで21万人超

グローバル売上高

(meviy 3D + 2D)



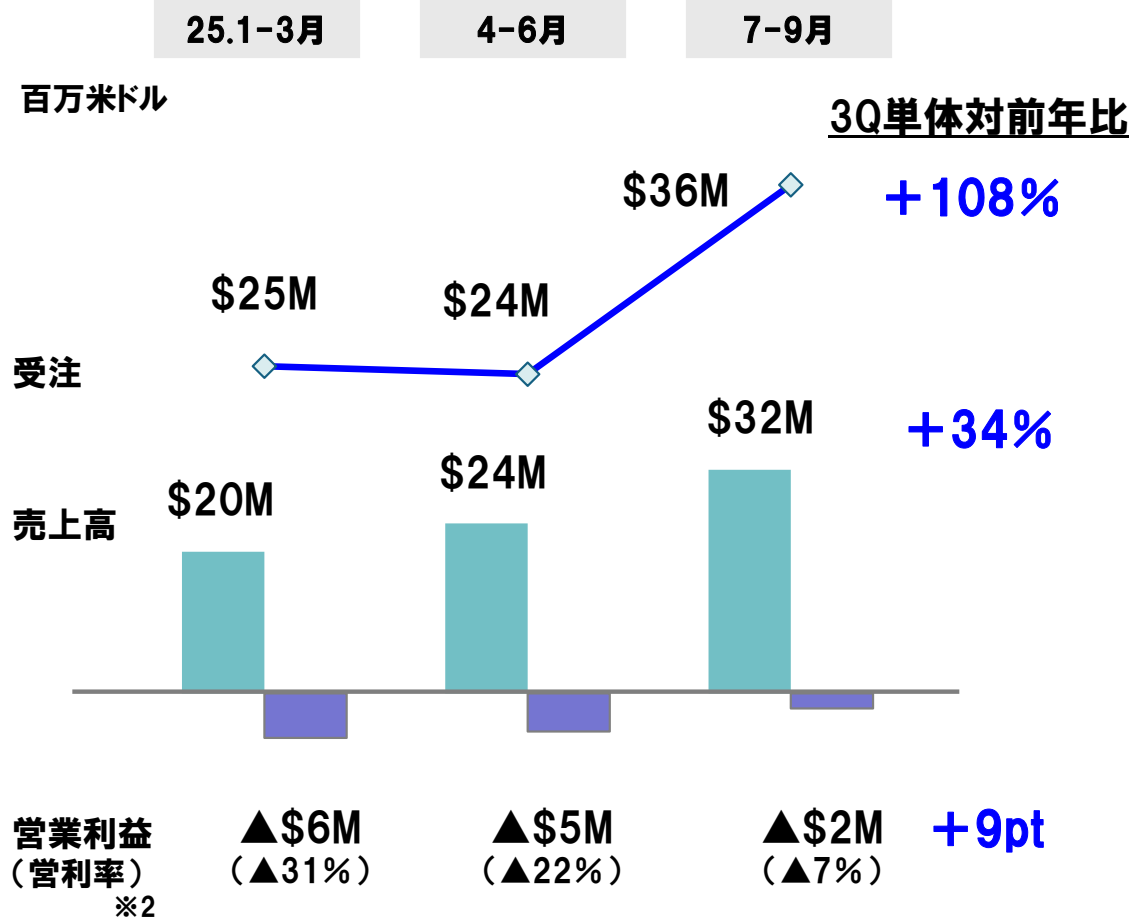
meviy 3D 累計利用者数推移



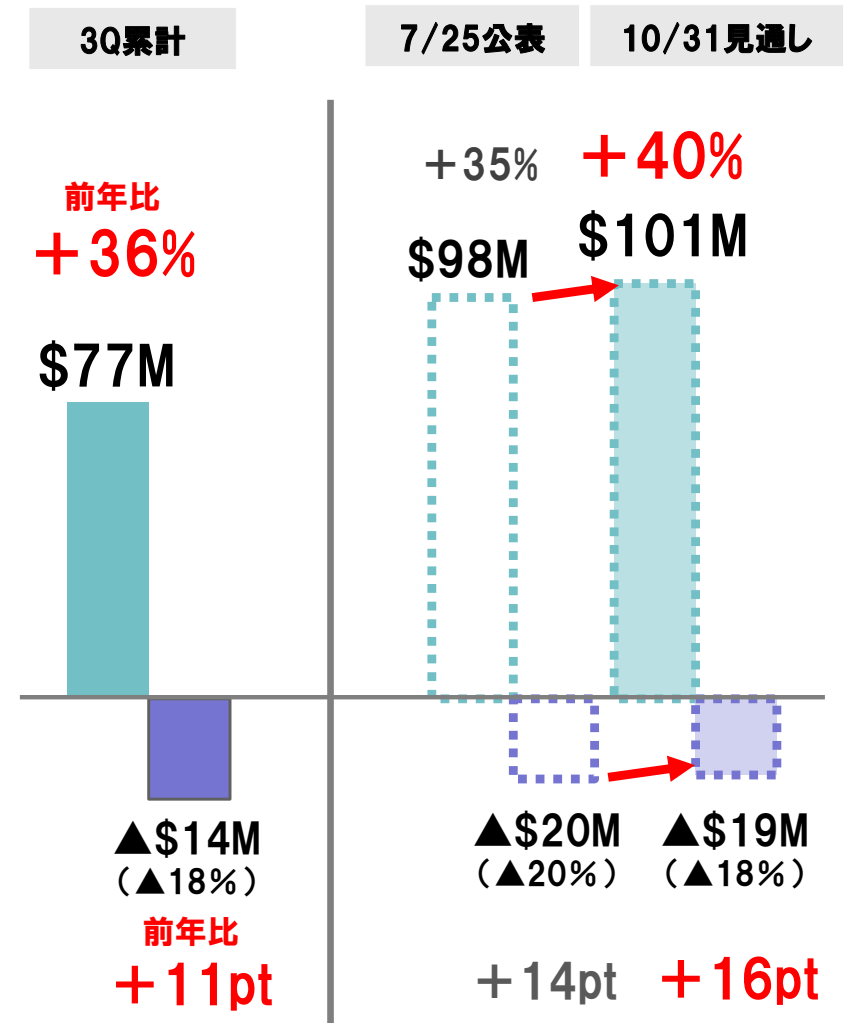
Fictiv業績推移(単独)

買収直後からクロスセルが奏功、3Q受注額は対前年+108%と高成長
足元成長を含め、CY25通期計画は想定を上回る見通し

CY25四半期売上高推移 ※1



CY25.3Q累計実績/通期見通し ※1



※1: 25年7月以降の業績より連結取込

※2: M&A仲介費用、のれん等償却含まず

統合計画の進捗

シナジー創出へ向けた統合計画は想定以上の成果も含め順調に進捗

1. リーン化

- **ミスミ協力工場(含パンチ工業)でFictiv品生産開始、原価低減に繋げる**
- **国際輸送、米国内輸送の共通化による経費低減開始**
- **クラウドサービス及び保険契約等の共通化による追加経費削減検討中**

2. クロスセル

- **ミスミ顧客への共同営業開始、ミスミ信用力で大口受注獲得**
- **今後、Fictiv顧客へのミスミ商品販売に着手**

3. 事業領域拡大(製品開発領域)

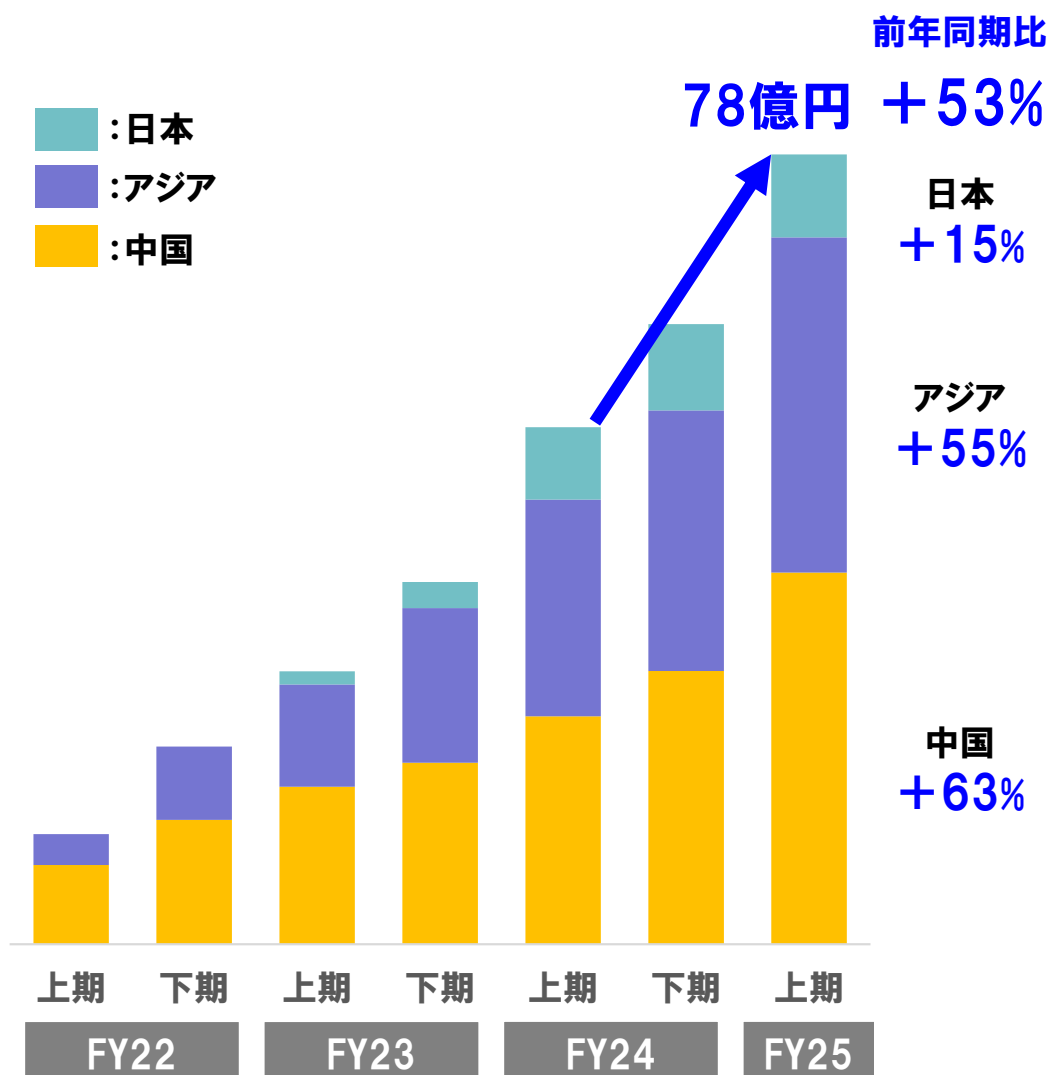
- **米国市場における限定顧客への新事業テストマーケティングに着手**

エコノミー品：地域毎対応強化

価格感応度の高い中国・アジアを中心に高成長を継続

成長加速に向け、新カタログ、現地調達、マーケティング等地域毎に強化

グローバル売上高



日本

- ・ 新商品開発実施
- ・ 新カタログ(小冊子)10月発刊

アジア

- ・ 現地調達率35%に拡大
- ・ 域内販売商品ラインナップを拡充
- ・ 新カタログ10月越発刊、順次各国展開

中国

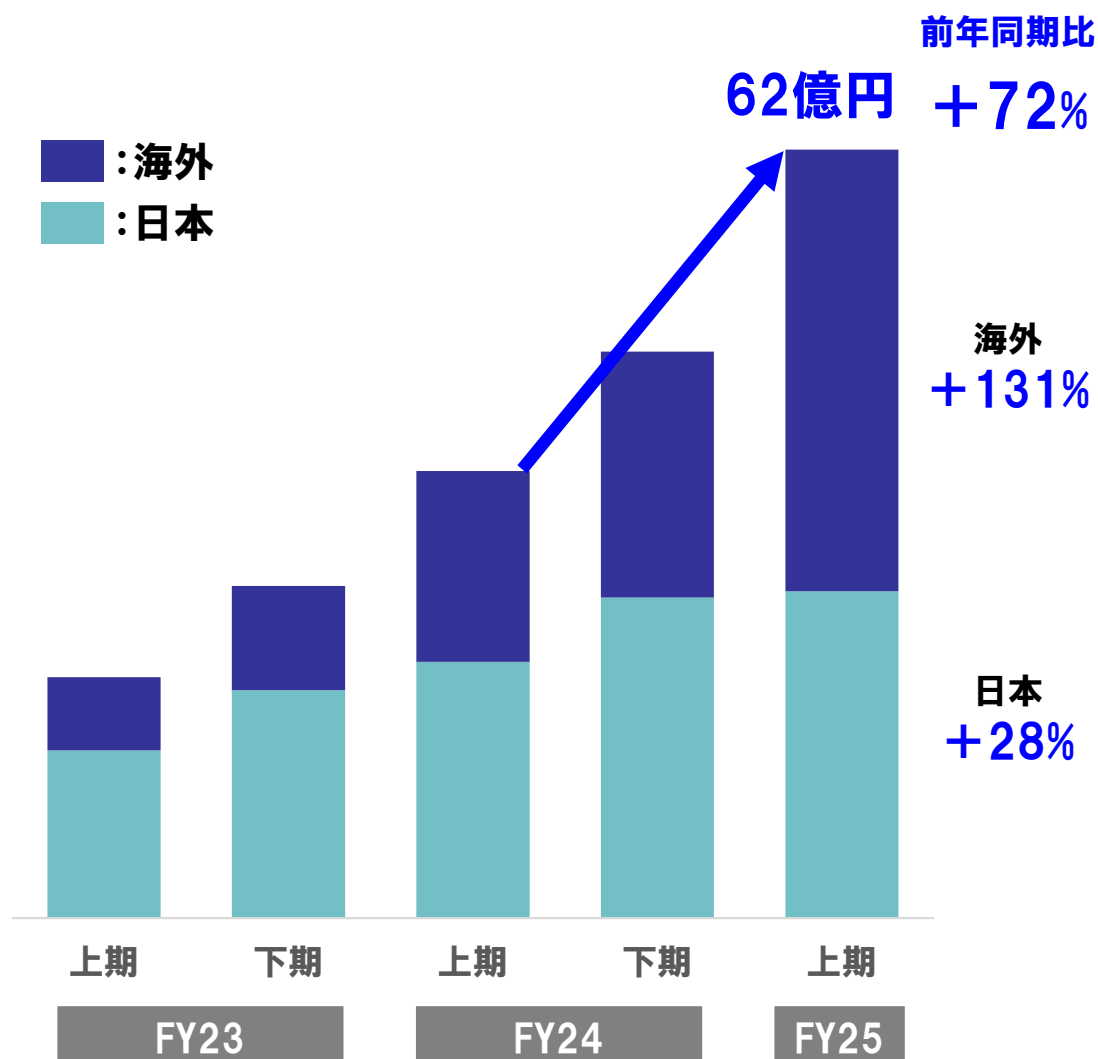
- ・ 高付加価値製品(エコノミーモジュール品)開発強化、ラインナップ拡充

D-JIT(大量調達の実現):グローバル展開

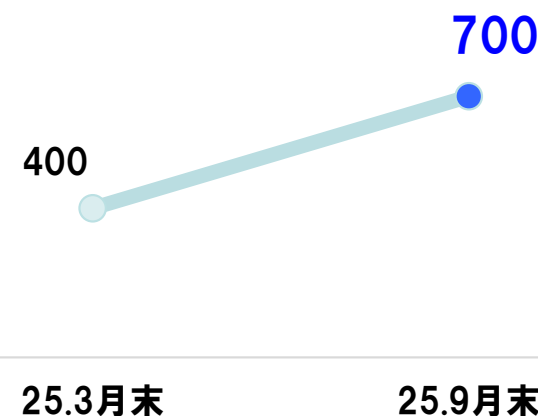
海外展開加速により売上拡大、FY25上期海外売上130%伸長

FY25下期 米・墨・印に新基幹システム導入で、更に活用地域を拡大

グローバル売上高

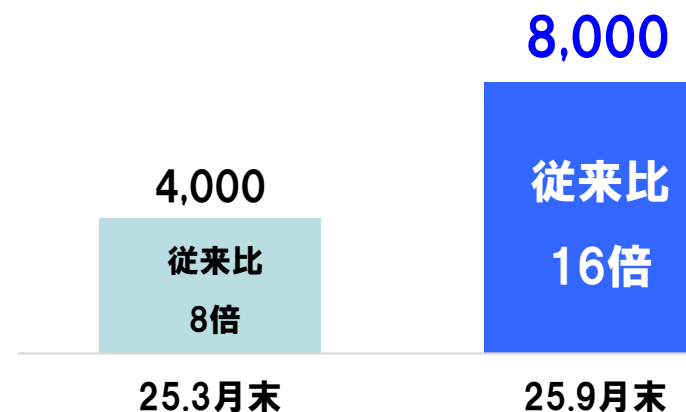


サイバーNW調達連携 (社数)



バーチャル在庫 (億円)

※従来: ミスミ在庫約500億円



flooW(ファクトリーMRO調達):導入加速

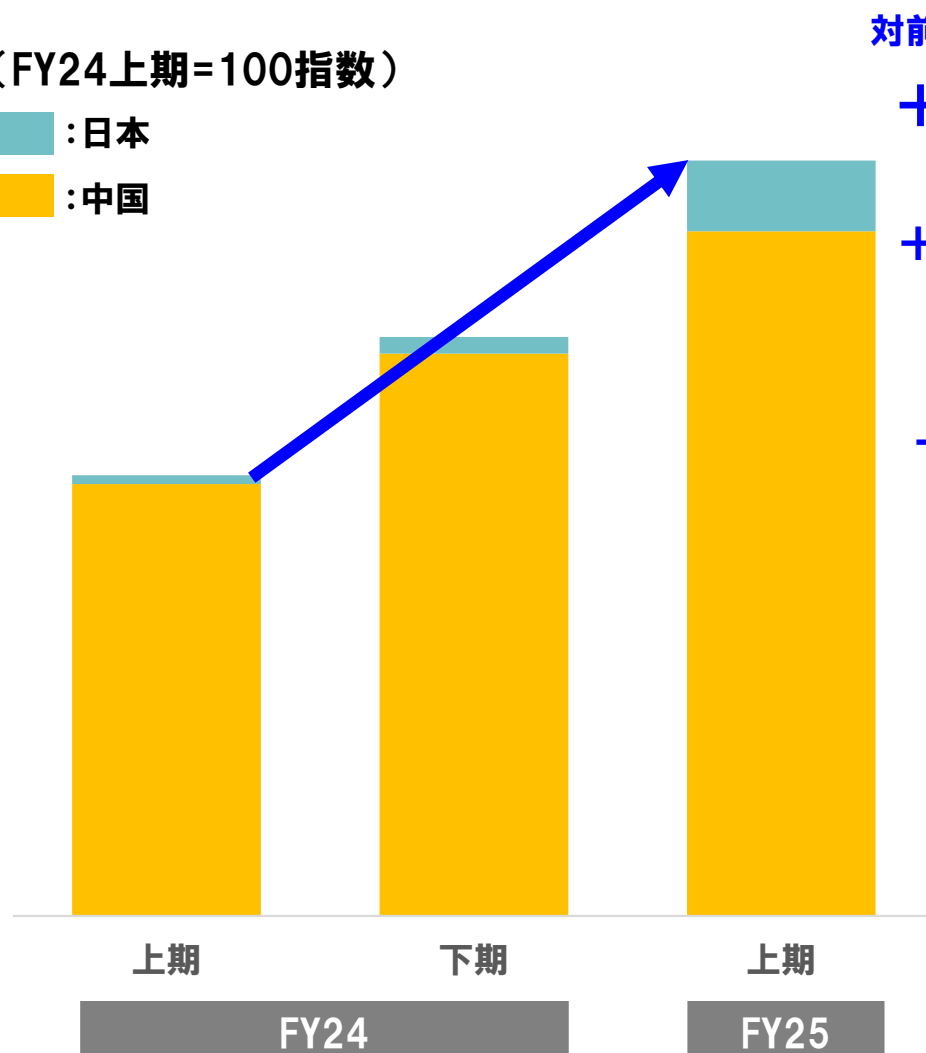
FY25日本本格導入、前期末比導入工場数+120%

既存顧客内浸透のみならず、異業種新規顧客も獲得も進捗

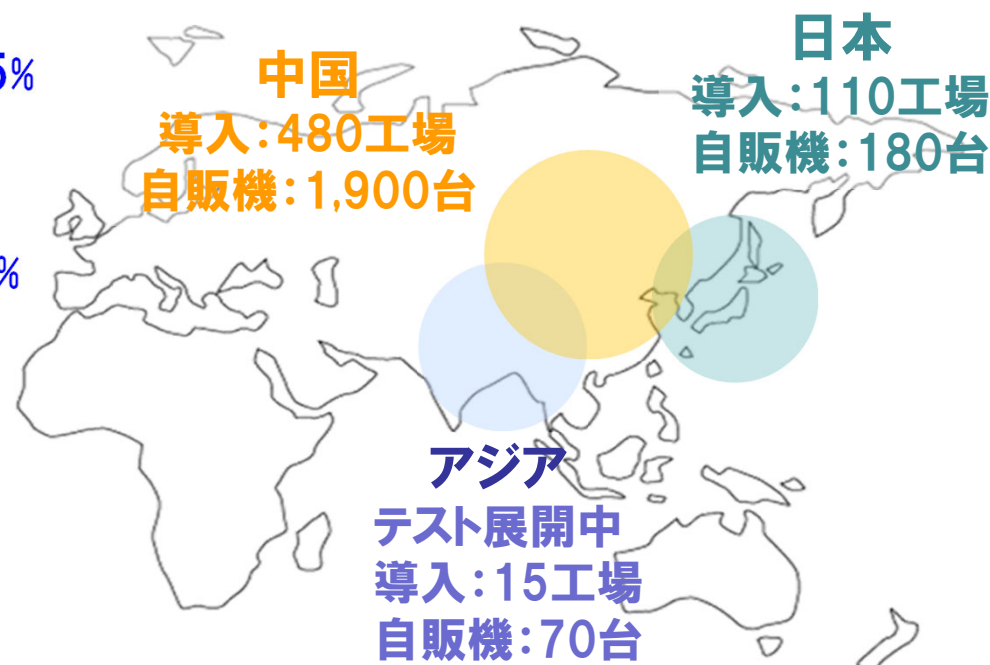
グローバル売上規模

(FY24上期=100指数)

■ : 日本
■ : 中国



導入状況(FY25上期進捗)



※FY24期末時点

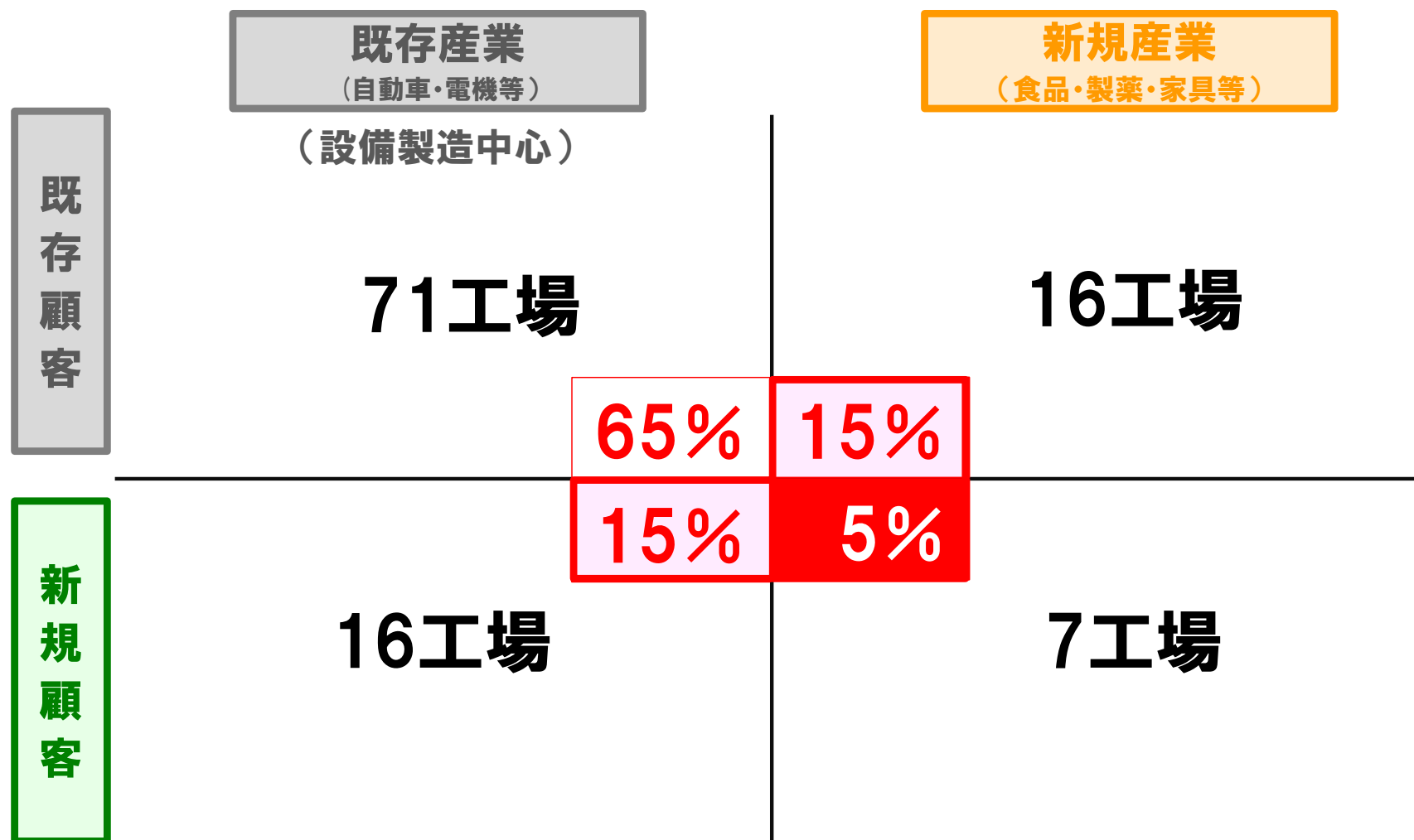
中国：420工場、自販機 1,700台

日本：50工場、自販機 110台

floow(ファクトリーMRO調達):新規顧客獲得

量産工場の課題解決により、ミスミとしての新規開拓(産業×顧客)が進む
今後もFloowシステムの機能増強により新領域の需要開拓を狙う

floow導入国内110工場の内訳



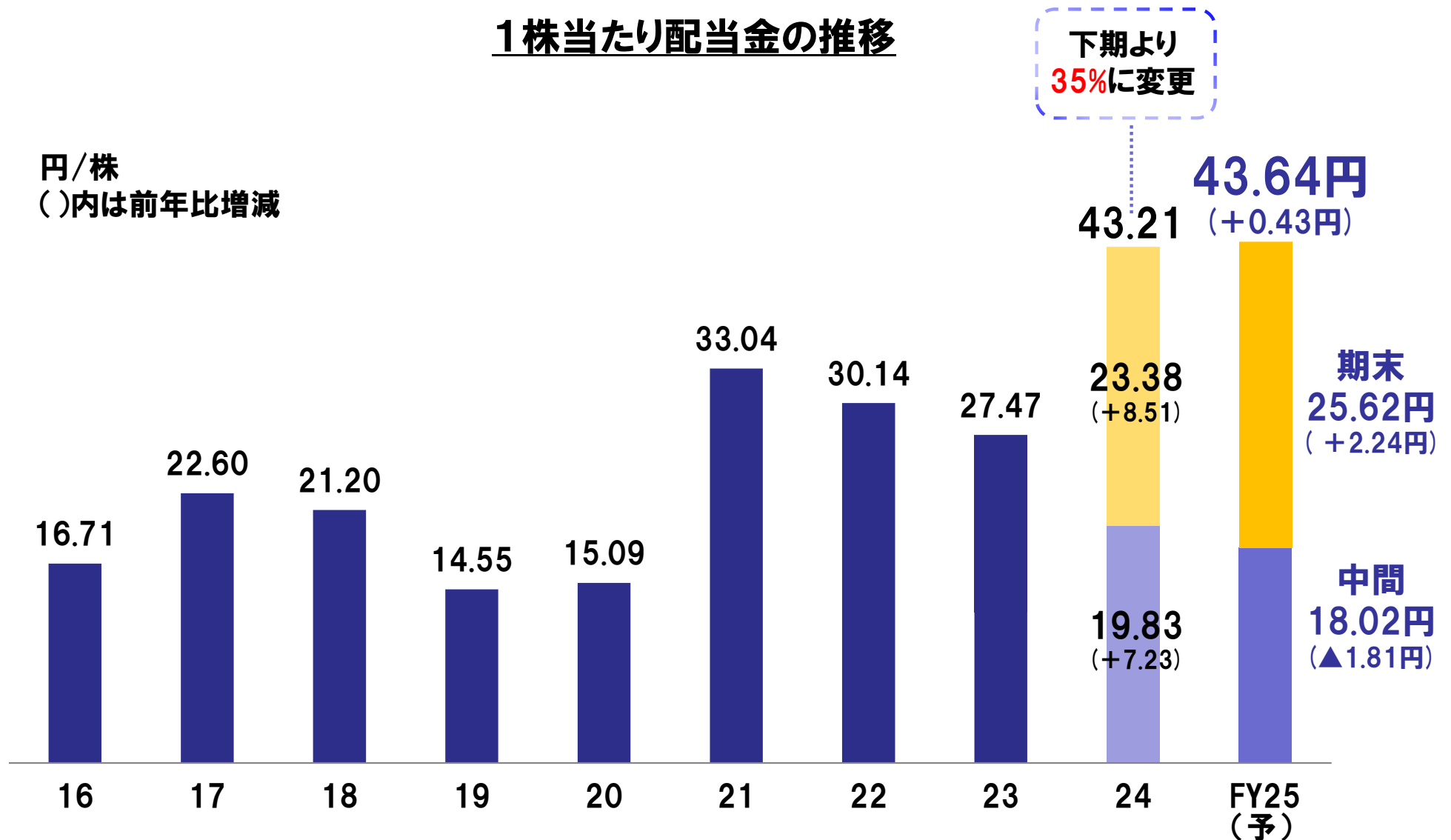
※24年度の購入実績がない顧客を「新規」と定義

株主還元

25年度中間配当は18.02円で前年同期比1.81円減(前回予想比0.31円増)
年間配当は43.64円、前年比0.43円増を見込む(前回予想比4.08円増)

1株当たり配当金の推移

円/株
()内は前年比増減



**皆様の一層のご支援を
お願い申し上げます**

参考資料

(1)連結貸借対照表

(百万円)

	2023/3/31		2024/3/31		2024/9/30		2025/3/31		2025/9/30	
	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
流動資産	282,623	11.7%	313,381	10.9%	301,615	-3.8%	317,805	1.4%	272,539	-14.2%
現金及び預金	119,558	9.8%	148,848	24.5%	145,192	-2.5%	159,296	7.0%	105,372	-33.9%
受取手形及び売掛金	76,359	-0.6%	75,869	-0.6%	74,627	-1.6%	78,390	3.3%	84,305	7.5%
棚卸資産	77,391	25.3%	78,378	1.3%	72,351	-7.7%	69,652	-11.1%	69,877	0.3%
その他の流動資産	9,313	64.3%	10,285	10.4%	9,444	-8.2%	10,466	1.8%	12,985	24.1%
固定資産	95,835	1.7%	100,136	4.5%	98,355	-1.8%	101,769	1.6%	153,216	50.6%
有形固定資産	48,405	4.1%	51,042	5.4%	51,239	0.4%	52,522	2.9%	52,887	0.7%
建物及び構築物	14,604	5.7%	14,252	-2.4%	20,749	45.6%	21,536	51.1%	21,955	1.9%
機械装置及び運搬具	15,666	-3.7%	16,084	2.7%	15,339	-4.6%	15,626	-2.8%	15,089	-3.4%
土地	3,898	0.6%	3,880	-0.5%	3,874	-0.1%	4,259	9.8%	4,301	1.0%
其他有形固定資産	14,235	13.4%	16,824	18.2%	11,275	-33.0%	11,099	-34.0%	11,540	4.0%
無形固定資産	35,021	-2.0%	36,109	3.1%	33,640	-6.8%	33,283	-7.8%	84,054	152.5%
のれん	-	-	-	-	-	-	-	-	51,369	-
その他の無形固定資産	35,021	-2.0%	36,109	3.1%	33,640	-6.8%	33,283	-7.8%	32,684	-1.8%
投資その他の資産	12,408	3.2%	12,984	4.6%	13,475	3.8%	15,963	22.9%	16,274	1.9%
投資有価証券	6	0.0%	6	0.0%	6	0.0%	1,224	-	1,302	6.4%
繰延税金資産	6,891	5.2%	7,679	11.4%	8,654	12.7%	9,052	17.9%	9,134	0.9%
その他の投資	5,510	0.8%	5,298	-3.9%	4,814	-9.1%	5,686	7.3%	5,837	2.6%
資産合計	378,458	8.9%	413,517	9.3%	399,971	-3.3%	419,574	1.5%	425,756	1.5%
流動負債	48,942	-6.6%	49,929	2.0%	47,654	-4.6%	51,876	3.9%	52,661	1.5%
支払手形及び買掛金	22,434	3.8%	20,984	-6.5%	19,701	-6.1%	21,189	1.0%	22,803	7.6%
その他の流動負債	26,507	-13.9%	28,944	9.2%	27,953	-3.4%	30,686	6.0%	29,857	-2.7%
固定負債	15,291	1.8%	15,908	4.0%	15,765	-0.9%	15,634	-1.7%	15,968	2.1%
繰延税金負債	798	-14.9%	648	-18.8%	913	40.7%	1,043	60.8%	990	-5.1%
退職給付に係る負債	7,025	2.2%	7,436	5.9%	7,624	2.5%	7,337	-1.3%	7,703	5.0%
その他の固定負債	7,467	3.6%	7,823	4.8%	7,228	-7.6%	7,253	-7.3%	7,273	0.3%
負債合計	64,234	-4.7%	65,837	2.5%	63,420	-3.7%	67,510	2.5%	68,629	1.7%
資本金	13,936	2.0%	14,146	1.5%	14,346	1.4%	14,483	2.4%	14,598	0.8%
資本剰余金	24,292	1.1%	24,303	0.0%	24,484	0.7%	24,585	1.2%	24,520	-0.3%
利益剰余金	245,557	11.4%	266,651	8.6%	280,661	5.3%	293,546	10.1%	301,121	2.6%
自己株式	△ 80	-	△ 9,159	-	△ 26,153	185.5%	△ 28,352	209.6%	△ 34,655	22.2%
その他の包括利益累計額合計	27,580	44.4%	48,573	76.1%	40,266	-17.1%	45,020	-7.3%	48,872	8.6%
新株予約権	1,989	2.7%	2,087	4.9%	1,871	-10.4%	1,663	-20.3%	1,503	-9.6%
非支配株主持分	948	18.9%	1,076	13.5%	1,074	-0.2%	1,116	3.8%	1,166	4.4%
純資産合計	314,224	12.2%	347,679	10.6%	336,550	-3.2%	352,064	1.3%	357,127	1.4%
負債・純資産合計	378,458	8.9%	413,517	9.3%	399,971	-3.3%	419,574	1.5%	425,756	1.5%

(注1)2020/3期より一部の在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用し、使用权資産は上記「其他有形固定資産」に、リース債務は「其他の流動負債」「其他の固定負債」に計上しております。

(注2)増減率が1,000%を超えるものについては「-」と表示しております。

(2)連結損益計算書

(百万円)

		2023/3期		2024/3期		2024/9(中間期)		2025/3期		2025/9(中間期)		2026/3期(計画)	
		金 額	売上比 前期比	金 額	売上比 前期比	金 額	売上比 前年中間期比	金 額	売上比 前期比	金 額	売上比 前年中間期比	金 額	売上比 前期比
FA事業		121,932	32.7%	118,219	32.2%	66,854	33.8%	135,803	33.8%	72,743	35.3%	157,778	36.5%
			2.2%		-3.0%		15.5%		14.9%		8.8%		16.2%
	金型部品事業	79,125	21.2%	79,932	21.7%	42,819	21.6%	86,451	21.5%	42,573	20.7%	87,760	20.3%
VONA事業			5.3%		1.0%		8.9%		8.2%		-0.6%		1.5%
		172,093	46.1%	169,497	46.1%	88,347	44.6%	179,732	44.7%	90,498	44.0%	186,462	43.2%
			0.2%		-1.5%		6.6%		6.0%		2.4%		3.7%
売上高		373,151	100.0%	367,649	100.0%	198,022	100.0%	401,987	100.0%	205,814	100.0%	432,000	100.0%
			1.9%		-1.5%		10.0%		9.3%		3.9%		7.5%
売上原価		202,073	54.2%	200,272	54.5%	105,240	53.1%	214,997	53.5%	110,812	53.8%		
			1.4%		-0.9%		6.3%		7.4%		5.3%		
売上総利益		171,078	45.8%	167,377	45.5%	92,781	46.9%	186,990	46.5%	95,002	46.2%		
			2.5%		-2.2%		14.4%		11.7%		2.4%		
販売費及び一般管理費合計		124,463	33.4%	129,011	35.1%	69,391	35.0%	140,509	35.0%	75,383	36.6%		
			8.6%		3.7%		10.8%		8.9%		8.6%		
営業利益		46,615	12.5%	38,365	10.4%	23,390	11.8%	46,480	11.6%	19,618	9.5%	45,500	10.5%
			-10.7%		-17.7%		26.3%		21.2%		-16.1%		-2.1%
営業外収益		2,283	0.6%	4,199	1.1%	2,451	1.2%	4,701	1.2%	1,424	0.7%		
			118.9%		84.0%		25.8%		11.9%		-41.9%		
営業外費用		1,059	0.3%	1,299	0.4%	619	0.3%	1,279	0.3%	646	0.3%		
			40.6%		22.7%		35.6%		-1.6%		4.3%		
経常利益		47,838	12.8%	41,265	11.2%	25,221	12.7%	49,901	12.4%	20,397	9.9%	46,300	10.7%
			-8.9%		-13.7%		26.1%		20.9%		-19.1%		-7.2%
特別損益		△ 1,305	-0.3%	△ 2,045	-0.6%	△ 110	-0.1%	38	0.0%	△ 504	-0.2%		
			-4.6%		56.6%		19.4%		-101.9%		354.5%		
法人税等		12,126	3.2%	10,964	3.0%	6,868	3.5%	13,285	3.3%	5,817	2.8%		
			-10.2%		-9.6%		20.8%		21.2%		-15.3%		
非支配株主に帰属する当期純利益		124	0.0%	102	0.0%	41	0.0%	105	0.0%	77	0.0%		
			92.5%		-17.3%		-9.5%		2.6%		89.1%		
親会社株主に帰属する当期純利益		34,282	9.2%	28,152	7.7%	18,200	9.2%	36,549	9.1%	13,997	6.8%	33,900	7.8%
			-8.7%		-17.9%		28.3%		29.8%		-23.1%		-7.2%

(3)連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2023/3期		2024/3期		2024/9 (中間期)		2025/3期		2025/9 (中間期)	
	金 額	前期比	金 額	前期比	金 額	前年同期比	金 額	前期比	金 額	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,447	△ 23,943	54,567	23,120	31,362	7,678	60,461	5,893	17,528	△ 13,834
税金等調整前当期純利益	46,533	△ 4,598	39,219	△ 7,313	25,110	5,196	49,940	10,720	19,892	△ 5,217
減価償却費	16,587	1,245	17,564	977	8,876	120	17,718	153	8,371	△ 504
のれん償却額	-	-	-	-	-	-	-	-	862	862
運転資本の増減	△ 11,766	△ 9,426	6,059	17,826	2,463	△ 288	4,228	△ 1,831	△ 2,488	△ 4,952
その他	△ 19,906	△ 11,164	△ 8,276	11,629	△ 5,088	2,650	△ 11,425	△ 3,148	△ 9,110	△ 4,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,033	3,728	△ 18,995	38	△ 20,639	△ 14,150	△ 32,452	△ 13,457	△ 34,340	△ 13,700
固定資産の取得による支出	△ 13,625	2,882	△ 17,976	△ 4,350	△ 7,631	34	△ 15,434	2,541	△ 6,443	1,187
定期預金の預入と払戻	△ 5,416	943	△ 1,483	3,933	△ 13,165	△ 14,320	△ 16,100	△ 14,617	20,756	33,922
子会社株式の取得による支出	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 48,483	△ 48,483
その他	9	△ 97	464	455	157	135	△ 916	△ 1,381	△ 168	△ 326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,169	△ 1,560	△ 18,968	△ 7,799	△ 22,808	△ 8,246	△ 31,759	△ 12,790	△ 17,684	5,123
配当金の支払額	△ 9,244	△ 1,427	△ 7,058	2,185	△ 4,190	△ 679	△ 9,653	△ 2,595	△ 6,422	△ 2,231
自己株式の取得による支出	△ 0	0	△ 10,095	△ 10,094	△ 17,522	△ 7,426	△ 20,164	△ 10,068	△ 6,896	10,626
その他	△ 1,924	△ 132	△ 1,814	109	△ 1,095	△ 140	△ 1,940	△ 126	△ 4,366	△ 3,271
現金及び現金同等物の換算差額	3,952	△ 2,506	10,132	6,179	△ 3,995	△ 12,378	△ 1,367	△ 11,500	1,442	5,438
現金及び現金同等物の増減額	5,197	△ 24,281	26,736	21,538	△ 16,081	△ 27,097	△ 5,117	△ 31,853	△ 33,053	△ 16,972
現金及び現金同等物の期首残高	101,443	29,479	106,640	5,197	133,376	26,736	133,376	26,736	128,259	△ 5,117
現金及び現金同等物の期末残高	106,640	5,197	133,376	26,736	117,295	△ 361	128,259	△ 5,117	95,205	△ 22,090

(注1) 25/9 (中間期) の財務活動によるC/F「その他」には取得した子会社の借入金の返済による支出△3,322百万円が含まれています。

(4)販売先社数の推移/(5)設備投資・減価償却費

(4) 販売先社数の推移

	2023/3期		2024/3期		2024/9(中間期)		2025/3期		2025/9(中間期)	
	社数	前期比	社数	前期比	社数	前年中間期比	社数	前期比	社数	前年中間期比
国内顧客数	115,934	-10.7%	108,663	-6.3%	85,460	-2.7%	107,438	-1.1%	85,959	0.6%
海外顧客数	204,442	-0.3%	209,434	2.4%	161,175	3.5%	216,418	3.3%	169,493	5.2%
合計	320,376	-4.3%	318,097	-0.7%	246,635	1.3%	323,856	1.8%	255,452	3.6%

(注1) 販売先社数:対象期間中に商品を販売した顧客会社の数

(5) 設備投資・減価償却費

(百万円)

	2023/3期				2024/3期				2024/9(中間期)				2025/3期				2025/9(中間期)			
	国内	海外	合計	前期比	国内	海外	合計	前期比	国内	海外	合計	前年 中間期比	国内	海外	合計	前期比	国内	海外	合計	前年 中間期比
建物・構築物及び土地	176	43	220	△ 12	336	80	417	197	2	101	104	△ 238	446	156	602	184	8	75	84	△ 20
機械装置・備品等	1,798	3,939	5,738	1,345	732	6,177	6,910	1,171	1,297	2,323	3,620	299	2,792	4,653	7,446	536	1,135	1,112	2,248	△ 1,372
無形固定資産	6,514	1,153	7,667	△ 4,214	9,975	673	10,648	2,981	3,681	224	3,905	△ 95	6,639	746	7,386	△ 3,262	3,525	584	4,110	204
設備投資合計	8,489	5,136	13,625	△ 2,882	11,044	6,931	17,976	4,350	4,981	2,649	7,631	△ 34	9,878	5,556	15,434	△ 2,541	4,670	1,773	6,443	△ 1,187
減価償却費(注1)	9,377	4,832	14,209	1,087	10,081	5,071	15,152	943	5,024	2,675	7,700	152	10,091	5,411	15,502	349	4,656	1,675	6,332	△ 1,367
のれん等償却費(注2)	-	503	503	36	-	595	595	92	-	320	320	23	-	640	640	45	-	1,229	1,229	909
償却費合計	9,377	5,335	14,712	1,123	10,081	5,666	15,747	1,035	5,024	2,995	8,020	175	10,091	6,051	16,142	394	4,656	2,905	7,562	△ 457

(注1) IFRS第16号「リース」適用による使用权資産の減価償却費等は除いております。なお、2025/9の実績額は827百万円です。

(注2) 2025/9(中間期)よりDayton Lamina Corporation買収にかかるその他無形固定資産の償却費に加え、Fictiv Inc買収にかかるのれん償却額を合算して記載しております。

(6)主要経営指標

	2023/3期	2024/3期	2024/9 (中間期)	2025/3期	2025/9 (中間期)
EBITDA (百万円)	63,202	55,930	32,266	64,199	28,853
1株当たり当期純利益 (円)	120.53	99.75	65.21	131.95	51.06
売上高営業利益率 (%)	12.5	10.4	11.8	11.6	9.5
総資産利益率 (%)	9.4	7.1	4.6	8.8	3.4
自己資本利益率 (%)	11.7	8.6	5.5	10.5	4.1
流動比率 (%)	577.5	627.7	632.9	612.6	517.5
自己資本比率 (%)	82.3	83.3	83.4	83.2	83.3
売上債権回転日数 (日)	74.9	75.6	68.3	70.0	70.7
在庫回転月数 (月)	4.1	4.7	4.4	4.1	3.9

【指標算式】

- ・EBITDA: 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額
- ・1株当たり当期純利益: 当期純利益 / 期中平均株式数(自己株式控除後)累計
- ・売上高営業利益率: 営業利益 / 売上高
- ・総資産利益率: 当期純利益 / ((前期末総資産 + 当期末総資産) / 2)
- ・自己資本利益率: 当期純利益 / ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) / 2)
- ・流動比率: 流動資産 / 流動負債
- ・自己資本比率: 期末自己資本 / 期末総資産
- ・売上債権回転日数(日): (前期末受取手形・売掛金 + 当期末受取手形・売掛金) / 2 / 売上高 × 365日(183日)
- ・在庫回転月数(月): (前期末棚卸資産 + 当期末棚卸資産) / 2 / 売上原価 × 12ヶ月(6ヶ月)

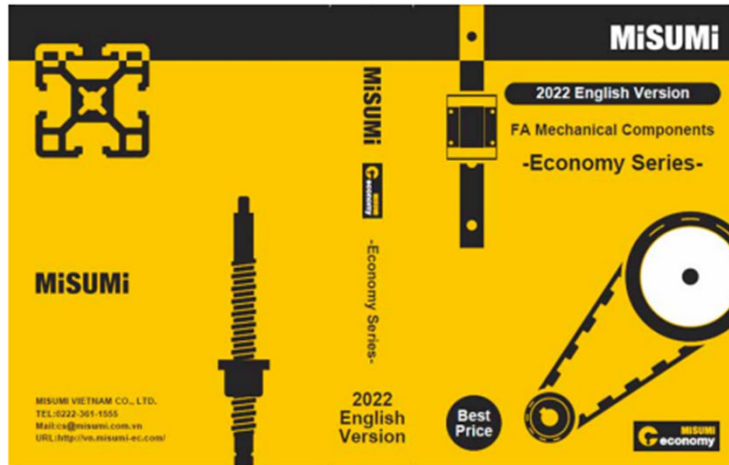
- 機械部品の3DデータをアップロードするだけでAIが自動で即時見積もり、独自のデジタル製造システムにより最短1日での出荷を実現するプラットフォーム(無料)



部品点数1,500点の設備の部品調達の場合



●中国発、ミドルレンジ需要に向け新たに投入した価格競争力の高い商品シリーズ



既存品との比較

既存品



-0.009~0

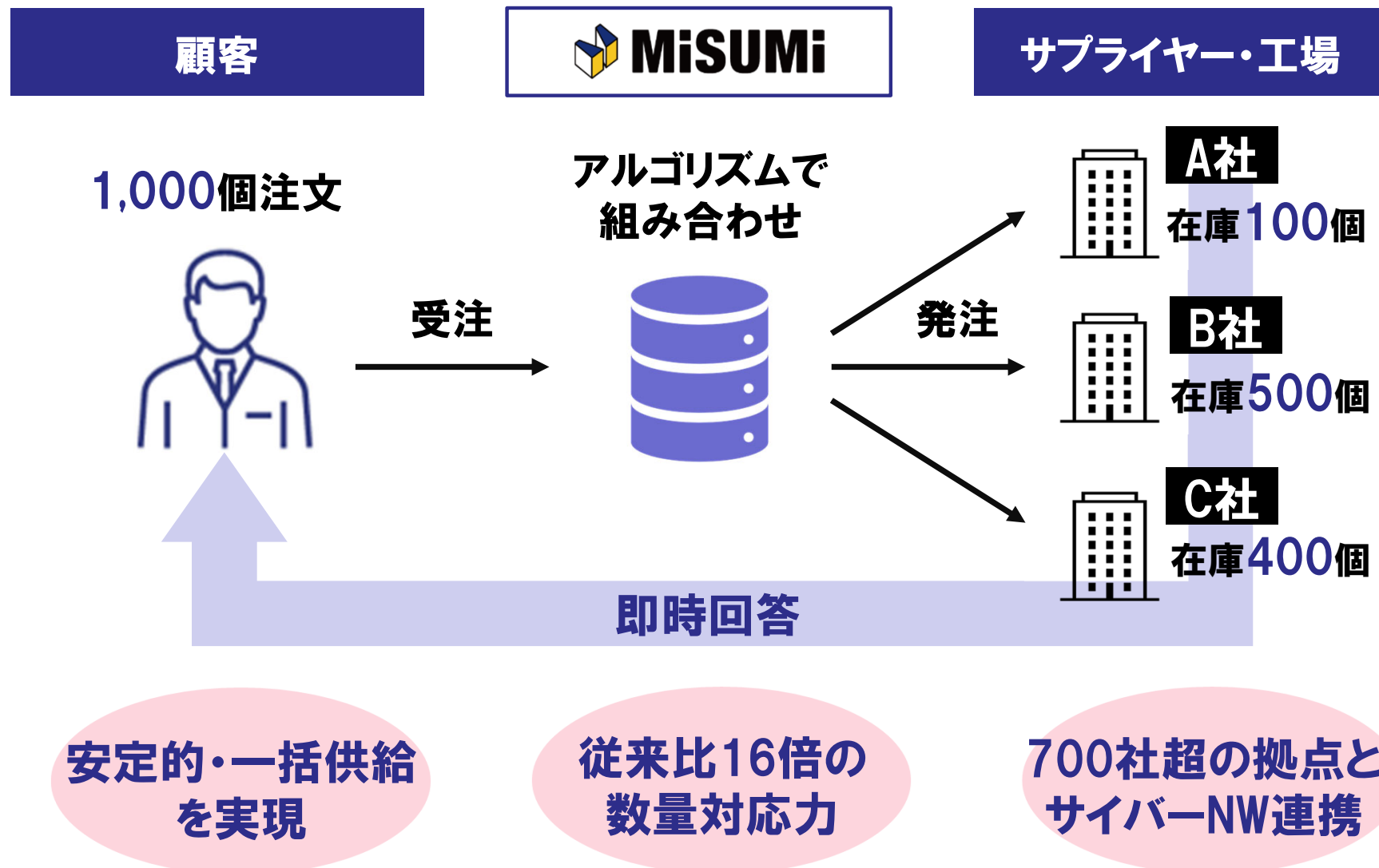
エコノミー品

-0.012~+0.003
(ミドルレンジ精度)精度
(内径公差)価格
指数

100

30~50

- 大量調達でも顧客希望数量を短納期で応える独自システムを構築・展開
- 日本からグローバルに拡大し、「少量短納期のミスミ」から「大量でもミスミ」へ



ミスミ在庫約500億円→バーチャル在庫約8,000億円

- お客様の購入頻度に応じて間接材トータルコストダウンサービスを構築
- 設備工場から量産へと既存顧客内浸透と共に異業種新規顧客も獲得



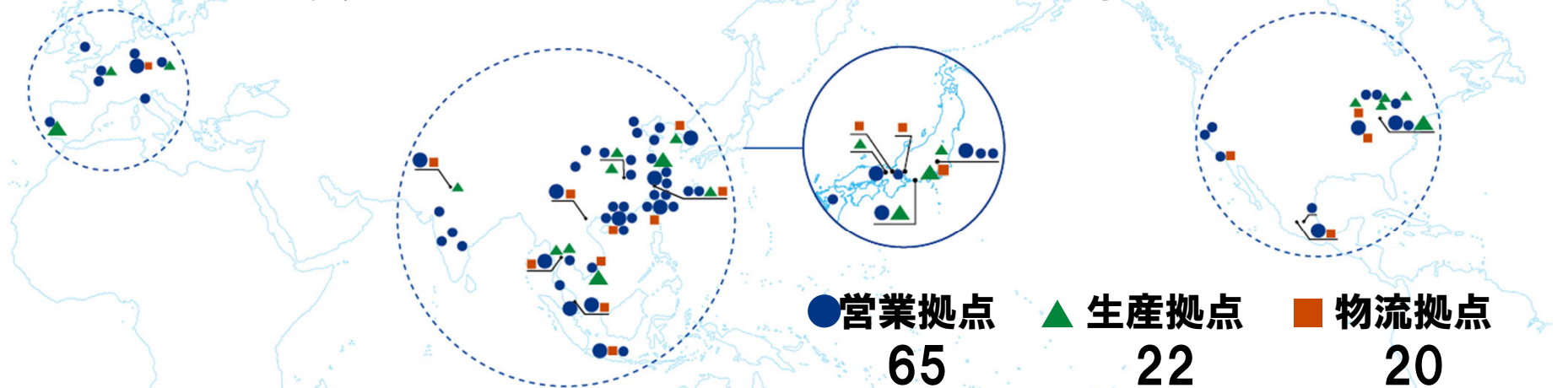
事業基盤

IT

- 持続的な成長に向けて積極的なIT投資を実施
- FY21から基幹システムを全面刷新
- 新機能開発スピード3倍、開発コスト3分の1を実現

生産・物流

- グローバルで確実短納期体制を強化し、より一層の商品の安定供給を目指す



生産

グローバル5極生産体制を構築。
有事の際には、直ちに生産工場
を切り替えることが可能

物流

自動化を導入したオペレーションを
グローバル展開。生産性向上(質)と
拠点拡張(量)の両輪で物流基盤強化